

## 基本計画書

基本計画									
事項	記入欄							備考	
計画の区分	大学の収容定員に係る学則変更								
フリガナ設置者	ガッコウカザン カガワカク 学校法人 神奈川大学								
フリガナ大学の名称	カガワカク 神奈川大学 (Kanagawa University)								
大学本部の位置	神奈川県横浜市神奈川区六角橋三丁目27番1号								
大学の目的	神奈川大学は、教育基本法（昭和22年法律第25号）及び学校教育法（昭和22年法律第26号）ののっとり、一般教養並びに専門学術の理論及び応用を教授研究し、識見高邁にして実践力に富む人材を育成し、文化の創造発展及び人類の福祉に貢献することを目的とする。								
新設学部等の目的	<p>本学では、既設の外国語学部の国際文化交流学科における国際文化交流学に関する教育実績を踏まえたうえで、学部教育としての教育研究体制の充実に向けて、既設の外国語学部の国際文化交流学科を発展的に改組転換し、平成32年4月に、国際文化交流学科、日本文化学科及び歴史民俗学科から構成する国際日本学部を設置することとした。</p> <p>今般の国際日本学部の設置計画においては、学部設置後の教育組織や教育内容及び教育環境等の整備状況、既設の外国語学部の国際文化交流学科における最近の志願者数や入学者数の状況を踏まえたうえで、受験生からの高い進学需要への積極的な対応に向けて、入学者選抜の機能が低下しない範囲での入学定員を設定するため、大学全体の入学定員を4,230人から4,280人に変更することとした。</p>								
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地	
	法学部	年	人	年次人	人		年 月 第 年次	横浜市神奈川区六角橋三丁目27番1号	
	法律学科	4	400	-	1,600	学士(法学)	昭和40年4月 第1年次		
	自治行政学科	4	200	-	800	学士(行政学)	平成7年4月 第1年次		
	経済学部							横浜市神奈川区六角橋三丁目27番1号	
	経済学科	4	650 (750)	-	2,600 (3,000)	学士(経済学)	昭和40年4月 第1年次		
	現代ビジネス学科	4	300 (350)	-	1,200 (1,400)	学士(商学)	昭和40年4月 第1年次		
	経営学部							平塚市土屋2946	経営学部及び外国語学部は、平成33年4月にみなとみらいキャンパス（横浜市西区みなとみらい四丁目5番1号）に移転予定
	国際経営学科	4	530	-	2,120	学士(国際経営学)	平成元年4月 第1年次		
	外国語学部							横浜市神奈川区六角橋三丁目27番1号	
	英語英文学科	4	200	-	800	学士(文学)	昭和40年4月 第1年次		
	スペイン語学科	4	90	-	360	学士(文学)	昭和40年4月 第1年次		
	中国語学科	4	60	-	240	学士(文学)	昭和63年4月 第1年次		
	国際文化交流学科		0 (100)	-	0 (400)	学士(文学)	平成18年4月 第1年次		
	人間科学部							横浜市神奈川区六角橋三丁目27番1号	
	人間科学科	4	300	-	1,200	学士(人間科学)	平成18年4月 第1年次		
	理学部							平塚市土屋2946	理学部は、平成35年4月に横浜キャンパス（横浜市神奈川区六角橋三丁目27番1号）に移転予定
	数理・物理学科	4	70	-	280	学士(理学)	平成24年4月 第1年次		
	情報科学科	4	110	-	440	学士(理学)	平成元年4月 第1年次		
化学科	4	110	-	440	学士(理学)	平成元年4月 第1年次			
生物科学科	4	110	-	440	学士(理学)	平成元年4月 第1年次			
工学部							横浜市神奈川区六角橋三丁目27番1号		
機械工学科	4	165	-	660	学士(工学)	昭和34年4月 第1年次			
電気電子情報工学科	4	165	-	660	学士(工学)	昭和34年4月 第1年次			
物質生命化学科	4	165	-	660	学士(工学)	昭和34年4月 第1年次			
情報システム創成学科	4	120	-	480	学士(工学)	昭和37年4月 第1年次			

新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学員定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地	※平成31年4月設置届出予定
	経営工学科	4	90	-	360	学士(工学)	平成24年4月第1年次	横浜市神奈川区六角橋三丁目27番1号 (1年次)	
建築学科	4	145	-	580	学士(工学)	昭和40年4月第1年次			
国際日本学部 国際文化交流学科	4	170 (0)	-	680 (0)	学士(文学)	平成32年4月第1年次	横浜市西区みなとみらい四丁目5番1号 (2年次)		
日本文化学科	4	60 (0)	-	240 (0)	学士(文学)	平成32年4月第1年次			
歴史民俗学科	4	70 (0)	-	280 (0)	学士(文学)	平成32年4月第1年次			
計		4,280 (4,230)	-	17,120 (16,920)					
同一設置者内における変更状況(定員の移行、名称の変更等)	国際日本学部(平成31年4月届出予定) 国際文化交流学科(定員増) (170) 日本文化学科 (60) 歴史民俗学科 (70) 経済学部 経済学科(定員減) (△100) (平成32年4月) 現代ビジネス学科(定員減) (△50) (平成32年4月) 外国語学部 国際文化交流学科(廃止) (△100) ※平成32年4月学生募集停止								
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数			
		講義	演習	実験・実習	計				
	—	—	—	—	—	—			
教員組織の概要	学部等の名称		専任教員等					兼任教員等	
			教授	准教授	講師	助教	計		助手
	新設	法学部 法律学科	17 (17)	8 (8)	0 (0)	1 (1)	26 (26)	0 (0)	468 (468)
		自治行政学科	8 (8)	5 (5)	0 (0)	0 (0)	13 (13)	0 (0)	489 (489)
		経済学部 経済学科	17 (17)	10 (10)	0 (0)	3 (3)	30 (30)	0 (0)	491 (491)
		現代ビジネス学科	9 (9)	9 (9)	0 (0)	1 (1)	19 (19)	0 (0)	495 (495)
		経営学部 国際経営学科	25 (25)	19 (19)	0 (0)	4 (4)	48 (48)	0 (0)	185 (185)
		外国語学部 英語英文学科	6 (6)	3 (3)	0 (0)	7 (7)	16 (16)	0 (0)	344 (344)
		スペイン語学科	5 (5)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	9 (9)	0 (0)	387 (387)
		中国語学科	5 (5)	3 (3)	0 (0)	1 (1)	9 (9)	0 (0)	379 (379)
		人間科学部 人間科学科	21 (21)	9 (9)	0 (0)	1 (1)	31 (31)	0 (0)	423 (423)
		理学部 数理・物理学科	10 (10)	3 (3)	0 (0)	2 (2)	15 (15)	0 (0)	229 (229)
		情報科学科	10 (10)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	12 (12)	4 (4)	231 (231)
		化学科	10 (10)	1 (1)	0 (0)	3 (3)	14 (14)	0 (0)	231 (231)
		生物科学科	9 (9)	4 (4)	0 (0)	3 (3)	16 (16)	0 (0)	231 (231)
		工学部 機械工学科	9 (9)	3 (3)	0 (0)	8 (8)	20 (20)	0 (0)	523 (523)
		電気電子情報工学科	9 (9)	5 (5)	0 (0)	5 (5)	19 (19)	2 (2)	525 (525)
		物質生命化学科	11 (11)	7 (7)	0 (0)	0 (0)	18 (18)	0 (0)	517 (517)
		情報システム創成学科	8 (8)	2 (2)	0 (0)	6 (6)	16 (16)	1 (1)	520 (520)
		経営工学科	5 (5)	4 (4)	0 (0)	4 (4)	13 (13)	2 (2)	525 (525)
建築学科		12 (12)	0 (0)	0 (0)	7 (7)	19 (19)	3 (3)	529 (529)	
工学基礎科目教室		7 (7)	10 (10)	0 (0)	7 (7)	24 (24)	0 (0)	0 (0)	

教 員 組 織 の 概 要	学 部 等 の 名 称		専任教員等					兼 任 教 員 等	
			教授	准教授	講師	助教	計		助手
新 設 分	国際日本学部 国際文化交流学科		18 (18)	14 (14)	0 (0)	4 (4)	36 (36)	0 (0)	331 (331)
		日本文化学科	7 (7)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	10 (10)	0 (0)	334 (334)
		歴史民俗学科	8 (6)	5 (5)	0 (0)	0 (0)	13 (11)	0 (0)	338 (340)
		計	246 (244)	133 (133)	0 (0)	67 (67)	446 (444)	12 (12)	- (-)
	既 設 分	該当なし	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	計	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	
	合 計	246 (244)	133 (133)	0 (0)	67 (67)	446 (444)	12 (12)	- (-)	
教 員 以 外 の 職 員 の 概 要	職 種		専 任		兼 任		計		
	事 務 職 員		278 (278) 人		141 (141) 人		419 (419) 人		
	技 術 職 員		25 (25)		11 (11)		36 (36)		
	図 書 館 専 門 職 員		11 (11)		7 (7)		18 (18)		
	そ の 他 の 職 員		0 (0)		0 (0)		0 (0)		
	計		314 (314)		159 (159)		473 (473)		
校 地 等	区 分	専 用	共 用		共用する他の 学校等の専用		計		
	校 舎 敷 地	219,401.73㎡	0㎡		0㎡		219,401.73㎡		
	運 動 場 用 地	199,569.55㎡	0㎡		0㎡		199,569.55㎡		
	小 計	418,971.28㎡	0㎡		0㎡		418,971.28㎡		
	そ の 他	141,786.17㎡	0㎡		0㎡		141,786.17㎡		
	合 計	560,757.45㎡	0㎡		0㎡		560,757.45㎡		
校 舎	専 用	共 用		共用する他の 学校等の専用		計			
	169,456.89㎡ (142,077.79㎡)	0㎡ (0㎡)		0㎡ (0㎡)		169,456.89㎡ (142,077.79㎡)			
教 室 等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	207室	175室	430室	18室 (補助職員 0人)	14室 (補助職員1人)				
専 任 教 員 研 究 室	新設学部等の名称			室 数					
	大学全体			592 室					
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	大学全体の数、 雑誌、視聴覚は タイトル数 機械・器具は事 務用を除く利用 者用の数	
	国際日本学部	1,128,480 [329,955] (1,128,480 [329,955])	13,185 [5,097] (13,185 [5,097])	24,337 [24,268] (24,337 [24,268])	22,202 (22,202)	285 (285)	0 (0)		
	計	1,128,480 [329,955] (1,128,480 [329,955])	13,185 [5,097] (13,185 [5,097])	24,337 [24,268] (24,337 [24,268])	22,202 (22,202)	285 (285)	0 (0)		
図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
	13,918.21㎡		1,913		1,216,148				
体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要						
	10,332.14㎡		ス ポ ー ツ セ ン タ ー		25 m 室 内 プ ー ル				
経 費 の 見 積 及 び 維 持 方 法 の 概 要	経 費 の 見 積 り	区 分	開 設 前 年 度	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次
		教員1人当り研究費等		430	430	430	430	-	-
		共同研究費等		30,000	30,000	30,000	30,000	-	-
		図書購入費	12,908	12,908	12,908	12,908	12,908	-	-
		設備購入費	0	0	10,000	10,000	10,000	-	-
	学生1人当り 納付金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次	大学全体	
1,250千円	1,070千円	1,090千円	1,110千円	-千円	-千円				
学生納付金以外の維持方法の概要			手数料収入・資産運用収入・事業収入等を充当する。						

大 学 の 名 称	神奈川大学								
	学 部 等 の 名 称	修 業 年 限	入 学 定 員	編 入 学 定 員	収 容 定 員	学 位 又 は 称 号	定 員 超 過 率	開 設 年 度	所 在 地
既 設	法学部	年	人	年次 人	人		倍		
	法律学科	4	400	-	1,600	学士(法学)	1.01	昭和40年度	横浜市神奈川区六角橋三丁目27番1号
	自治行政学科	4	200	-	800	学士(行政学)	1.01	平成7年度	
設	経済学部						1.01		横浜市神奈川区六角橋三丁目27番1号
	経済学科	4	750	-	3,000	学士(経済学)	1.01	昭和40年度	
	現代ビジネス学科	4	350	-	1,400	学士(商学)	1.02	昭和40年度	
大	経営学部						1.00		平塚市土屋2946
	国際経営学科	4	530	-	2,120	学士(国際経営学)	1.00	平成元年度	
学	外国語学部						1.01		横浜市神奈川区六角橋三丁目27番1号
	英語英文学科	4	200	-	800	学士(文学)	1.01	昭和40年度	
	スペイン語学科	4	90	-	360	学士(文学)	1.02	昭和40年度	
	中国語学科	4	60	-	240	学士(文学)	1.02	昭和63年度	
	国際文化交流学科	4	100	-	400	学士(文学)	1.03	平成18年度	
等	人間科学部						1.00		横浜市神奈川区六角橋三丁目27番1号
	人間科学科	4	300	-	1,200	学士(人間科学)	1.00	平成18年度	
の	理学部						0.94		平塚市土屋2946
	数理・物理学科	4	70	-	280	学士(理学)	0.88	平成24年度	
	情報科学科	4	110	-	440	学士(理学)	1.02	平成元年度	
	化学科	4	110	-	440	学士(理学)	0.95	平成元年度	
	生物科学科	4	110	-	440	学士(理学)	0.88	平成元年度	
状	工学部						0.98		横浜市神奈川区六角橋三丁目27番1号
	機械工学科	4	165	-	660	学士(工学)	0.98	昭和34年度	
	電気電子情報工学科	4	165	-	660	学士(工学)	0.96	昭和34年度	
	物質生命化学科	4	165	-	660	学士(工学)	0.92	昭和34年度	
	情報システム創成学科	4	120	-	480	学士(工学)	1.00	昭和37年度	
	経営工学科	4	90	-	360	学士(工学)	1.04	平成24年度	
	建築学科	4	145	-	580	学士(工学)	1.01	昭和40年度	
況	大学院								
	法学研究科								横浜市神奈川区六角橋三丁目27番1号
	法学専攻								
	博士前期課程	2	20	-	40	修士(法学)	0.15	昭和42年度	
	博士後期課程	3	3	-	9	博士(法学)	0.00	昭和44年度	
	法務研究科								横浜市神奈川区六角橋三丁目27番1号
	法務専攻								
	専門職学位課程	-	-	-	-	法務博士(法学)	-	平成16年度	
状	経済学研究科								横浜市神奈川区六角橋三丁目27番1号
	経済学専攻								
	博士前期課程	2	30	-	60	修士(経済学)	0.08	昭和42年度	
	博士後期課程	3	4	-	12	博士(経済学)	0.08	昭和44年度	
	経営学研究科								平塚市土屋2946
	国際経営専攻								
	博士前期課程	2	10	-	20	修士(経営学)	0.75	平成5年度	
	博士後期課程	3	3	-	9	博士(経営学)	0.11	平成7年度	
況	外国語学研究科								横浜市神奈川区六角橋三丁目27番1号
	欧米言語文化専攻								
	博士前期課程	2	10	-	20	修士(文学)	0.20	平成23年度	
	博士後期課程	3	3	-	9	博士(文学)	0.22	平成23年度	
	中国言語文化専攻								
	博士前期課程	2	5	-	10	修士(文学)	1.30	平成4年度	
	博士後期課程	3	2	-	6	博士(文学)	1.16	平成7年度	

平成28年度より学生募集停止

	学 部 等 の 名 称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又 は称号	定 員 超過率	開設 年度	所 在 地	
既 設 大 学 等 の 状 況	人間科学研究科								横浜市神奈川区六角 橋三丁目27番1号	
	人間科学専攻 博士前期課程	2	12	-	24	修士(人間科学)	0.70	平成21年度		
	博士後期課程	3	4	-	12	博士(人間科学)	0.16	平成21年度		
	理学研究科								平塚市土屋2946	
	理学専攻 博士前期課程	2	59	-	118	修士(理学)	0.38	平成28年度		
	博士後期課程	3	3	-	9	博士(理学)	1.22	平成28年度		
	化学専攻 博士前期課程	2	-	-	-	修士(理学)	-	平成5年度		平成28年度より学 生募集停止
	博士後期課程	3	-	-	-	博士(理学)	-	平成7年度		
	工学研究科								横浜市神奈川区六角 橋三丁目27番1号	
	工学専攻 博士前期課程	2	120	-	120	修士(工学)	0.58	平成31年度		
	博士後期課程	3	11	-	11	博士(工学)	0.45	平成31年度		
	機械工学専攻 博士前期課程	2	-	-	-	修士(工学)	-	昭和42年度		平成31年度より学 生募集停止
	博士後期課程	3	-	-	-	博士(工学)	-	平成2年度		
	電気電子情報工学専攻 博士前期課程	2	-	-	-	修士(工学)	-	平成15年度		平成31年度より学 生募集停止
	博士後期課程	3	-	-	-	博士(工学)	-	平成15年度		
	応用化学専攻 博士前期課程	2	-	-	-	修士(工学)	-	昭和42年度		平成31年度より学 生募集停止
	博士後期課程	3	-	-	-	博士(工学)	-	平成2年度		
	経営工学専攻 博士前期課程	2	-	-	-	修士(工学)	-	平成3年度		平成31年度より学 生募集停止
	博士後期課程	3	-	-	-	博士(工学)	-	平成5年度		
	建築学専攻 博士前期課程	2	30	-	70	修士(工学)	0.61	昭和46年度		平成31年度入学定員 減 博士前期課程(△10) 博士後期課程(△3)
博士後期課程	3	3	-	12	博士(工学)	0.44	平成2年度			
歴史民俗資料科学研究科								横浜市神奈川区六角 橋三丁目27番1号		
歴史民俗資料学専攻 博士前期課程	2	20	-	40	修士(歴史民俗資料学)	0.90	平成5年度			
博士後期課程	3	3	-	9	博士(歴史民俗資料学)	2.55	平成7年度			
附属施設の概要	該当なし									

学校法人神奈川大学 設置認可等に関わる組織の移行表

平成31年度	入学 定員	収容 定員	変更の事由
<b>神奈川大学</b>			
<b>法学部</b>			
法律学科	400	1,600	
自治行政学科	200	800	
<b>経済学部</b>			
経済学科	750	3,000	
現代ビジネス学科	350	1,400	
<b>経営学部</b>			
国際経営学科	530	2,120	
<b>外国語学部</b>			
英語英文学科	200	800	
スペイン語学科	90	360	
中国語学科	60	240	
国際文化交流学科	100	400	
<b>人間科学部</b>			
人間科学科	300	1,200	
<b>理学部</b>			
数理・物理学科	70	280	
情報科学科	110	440	
化学科	110	440	
生物科学科	110	440	
<b>工学部</b>			
機械工学科	165	660	
電気電子情報工学科	165	660	
物質生命化学科	165	660	
情報システム創成学科	120	480	
経営工学科	90	360	
建築学科	145	580	
<b>計</b>	<b>4,230</b>	<b>16,920</b>	
<b>神奈川大学大学院</b>			
<b>法学研究科</b>			
法律学専攻(M)	20	40	
法律学専攻(D)	3	9	
<b>経済学研究科</b>			
経済学専攻(M)	30	60	
経済学専攻(D)	4	12	
<b>経営学研究科</b>			
国際経営専攻(M)	10	20	
国際経営専攻(D)	3	9	
<b>外国語学研究科</b>			
欧米言語文化専攻(M)	10	20	
中国言語文化専攻(M)	5	10	
欧米言語文化専攻(D)	3	9	
中国言語文化専攻(D)	2	6	
<b>人間科学研究科</b>			
人間科学専攻(M)	12	24	
人間科学専攻(D)	4	12	
<b>理学研究科</b>			
理学専攻(M)	59	118	
理学専攻(D)	3	9	
<b>工学研究科</b>			
工学専攻(M)	120	240	
建築学専攻(M)	30	60	
工学専攻(D)	11	33	
建築学専攻(D)	3	9	
<b>歴史民俗資料学研究科</b>			
歴史民俗資料学専攻(M)	20	40	
歴史民俗資料学専攻(D)	3	9	
<b>計</b>	<b>355</b>	<b>749</b>	

→

平成32年度	入学 定員	収容 定員	変更の事由
<b>神奈川大学</b>			
<b>法学部</b>			
法律学科	400	1,600	
自治行政学科	200	800	
<b>経済学部</b>			
経済学科	650	2,600	平成32年4月 定員変更(入学定員△100)
現代ビジネス学科	300	1,200	平成32年4月 定員変更(入学定員△50)
<b>経営学部</b>			
国際経営学科	530	2,120	
<b>外国語学部</b>			
英語英文学科	200	800	
スペイン語学科	90	360	
中国語学科	60	240	
	0	0	平成32年4月 学生募集停止
<b>国際日本学部</b>			
			平成32年4月 学部の設置(届出)
国際文化交流学科	170	680	
日本文化学科	60	240	
歴史民俗学科	70	280	
<b>人間科学部</b>			
人間科学科	300	1,200	
<b>理学部</b>			
数理・物理学科	70	280	
情報科学科	110	440	
化学科	110	440	
生物科学科	110	440	
<b>工学部</b>			
機械工学科	165	660	
電気電子情報工学科	165	660	
物質生命化学科	165	660	
情報システム創成学科	120	480	
経営工学科	90	360	
建築学科	145	580	
<b>計</b>	<b>4,280</b>	<b>17,120</b>	
<b>神奈川大学大学院</b>			
<b>法学研究科</b>			
法律学専攻(M)	20	40	
法律学専攻(D)	3	9	
<b>経済学研究科</b>			
経済学専攻(M)	30	60	
経済学専攻(D)	4	12	
<b>経営学研究科</b>			
国際経営専攻(M)	10	20	
国際経営専攻(D)	3	9	
<b>外国語学研究科</b>			
欧米言語文化専攻(M)	10	20	
中国言語文化専攻(M)	5	10	
欧米言語文化専攻(D)	3	9	
中国言語文化専攻(D)	2	6	
<b>人間科学研究科</b>			
人間科学専攻(M)	12	24	
人間科学専攻(D)	4	12	
<b>理学研究科</b>			
理学専攻(M)	59	118	
理学専攻(D)	3	9	
<b>工学研究科</b>			
工学専攻(M)	120	240	
建築学専攻(M)	30	60	
工学専攻(D)	11	33	
建築学専攻(D)	3	9	
<b>歴史民俗資料学研究科</b>			
歴史民俗資料学専攻(M)	20	40	
歴史民俗資料学専攻(D)	3	9	
<b>計</b>	<b>355</b>	<b>749</b>	

## 目次：学則の変更の趣旨等を記載した書類

1	学則変更（収容定員変更）の内容	p. 1
2	学則変更（収容定員変更）の必要性	p. 1
	（1）国際日本学部の設置の趣旨	p. 1
	（2）国際日本学部の設置の必要性	p. 2
3	学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容	p. 2
	（1）教育課程の変更内容	p. 2
	① 国際文化交流学科	p. 3
	② 日本文化学科	p. 4
	③ 歴史民俗学科	p. 5
	（2）教育方法及び履修指導方法の変更内容	p. 6
	① 教育方法	p. 6
	② 履修指導方法	p. 6
	（3）教員組織の変更内容	p. 7
	① 国際文化交流学科	p. 7
	② 日本文化学科	p. 7
	③ 歴史民俗学科	p. 8
	（4）施設・設備の変更内容	p. 8
	① 校地、運動場の整備計画	p. 8
	② 校舎等施設の整備計画	p. 8
	③ 図書等の資料及び図書館の整備計画	p. 9

## 学則の変更の趣旨等を記載した書類

### 1 学則変更（収容定員変更）の内容

平成 32 年 4 月より、新たに国際文化交流学科、日本文化学科、歴史民俗学科から構成する国際日本学部を設置することに伴い、次のとおり、収容定員を変更する。

今般、設置する国際日本学部の国際文化交流学科の入学定員を 170 人、日本文化学科の入学定員を 60 人、歴史民俗学科の入学定員を 70 人とし、国際日本学部の国際文化交流学科が設置された場合に学生募集の停止を予定している既設の外国語学部の国際文化交流学科から入学定員 100 人を移行するとともに、既設の経済学部の経済学科から入学定員 100 人、同現代ビジネス学科から入学定員 50 人の合計 250 人の入学定員を国際日本学部に移行し、50 人の入学定員について、新たに定員増を行うこととする。（基本計画書【補足資料】）※学校法人神奈川大学設置認可等に関わる組織の移行表

学部／学科	収容定員変更前			収容定員変更後		
	入学定員	編入定員	収容定員	入学定員	編入定員	収容定員
国際日本学部（新設）						
国際文化交流学科	—	—	—	<u>170</u>	—	<u>680</u>
日本文化学科	—	—	—	<u>60</u>	—	<u>240</u>
歴史民俗学科	—	—	—	<u>70</u>	—	<u>280</u>
外国語学部（既設）						
国際文化交流学科	100	—	400	<u>0</u>	—	<u>0</u>
経済学部（既設）						
経済学科	750	—	3,000	<u>650</u>	—	<u>2,600</u>
現代ビジネス学科	350	—	1,400	<u>300</u>	—	<u>1,200</u>

### 2 学則変更（収容定員変更）の必要性

#### （1）国際日本学部の設置の趣旨

今後、本学が地域社会の期待や要請に適切に応え、自律性に基づく多様化や個性化をより一層推進していくためには、自らの責任において、地域や学生のニーズに対応した教育組織の構築や教育内容の充実、教育方法の改善など、学部教育における組織改革や教育改革に格段の努力を注ぐことが重要であるものと考えている。

このような高等教育を取り巻く社会環境の変化や最近の進学希望者の動向などを踏まえるとともに、特に、昨今の地域事情を見据え、地域に根ざした大学としての特色をより明確にしたうえで、学部教育の一層の充実と発展に向けて、既設の外国語学部の国際文化交流学科を発展的に改組転換し、国際文化交流学科、日本文化学科、歴史民俗学科から構成する国際日本学部として設置することとした。

今般の国際日本学部の設置計画は、平成 28 年以降推進してきた本学の教育研究組織の整



備計画の一環であると同時に、長年にわたる学部教育の実績をもとに、今後のさらなる充実を目指して、本学が理念として掲げている「真の実学を目指す伝統を踏まえ、自立した良識ある市民としての判断力と実践的能力、国際的感性とコミュニケーション能力を有し、専門的知識と技能を身に付けた、自ら成長することのできる人材を養成する。同時に、地域社会及び世界に開かれた大学として、時代と社会の付託に応えるべく、人類と社会の発展に貢献しうる研究の遂行と、その成果の社会への還元を実現する。」ことの一層の具現化を目指すものである。

## (2) 国際日本学部の設置の必要性

既設の外国語学部の国際文化交流学科は、「国際文化交流学」に関する教育研究活動を通じて、文化の異なる人たちと共生しながら日本文化を発信できる人材の育成を教育目標として掲げ、高等教育機関としての使命を果たすべく、常に教育課程の改編や教育内容の充実など教育研究の整備と充実に努めてきた。

しかしながら、近年、18歳人口の減少や高学歴志向の高まりなど、高等教育を取り巻く環境が大きく変化してきており、その方向性も多様化していることから、時代の変化と社会の要請に柔軟に対応しつつ、学部教育の多様な発展に向けた特色ある教育研究に取り組むことによる、高等教育機関としての独自性を発展的に実現する必要性が生じてきている。

また、学術研究の進展や高度化に伴い、学部教育が対象とする専門領域も広範に及んでいくとともに、進学希望者の興味と関心や学習意欲に積極的かつ柔軟に対応していくためには、学生の選択の幅や流動性を高める工夫も重要となっており、学術研究の進展や進学希望者の動向及び地域社会の人材需要を踏まえた教育組織の整備と充実による、特色ある教育研究に取り組む必要性が生じてきている。

このことから、既設の外国語学部の国際文化交流学科における国際文化交流学に関する教育実績を踏まえたうえで、学部教育としての教育研究体制の充実に向けて、既設の外国語学部の国際文化交流学科を発展的に改組転換し、平成32年4月より、国際文化交流学科、日本文化学科、歴史民俗学科から構成する国際日本学部を設置することとした。(基本計画書【補足資料】)※学校法人神奈川大学設置認可等に関わる組織の移行表

今般の国際日本学部の国際文化交流学科、日本文化学科、歴史民俗学科の設置計画においては、既設の外国語学部の国際文化交流学科における最近の志願者数や入学者数等の状況を踏まえるとともに、学部設置後の教育組織や教育内容及び教育環境などの整備状況を踏まえたうえで、受験生からの高い進学需要への積極的な対応に向けて、国際日本学部における入学者選抜の機能が低下しない範囲での、入学定員を設定することとした。

## 3 学則変更(収容定員変更)に伴う教育課程等の変更内容

### (1) 教育課程の変更内容

国際日本学部では、学部段階の専門教育では、細分化された狭い分野を教えるだけでなく、基礎、基本を重視し、専門の骨格を正確に把握させることが必要であるとともに、総合

的な知識や技能を身に付けることができるような幅広い教育を施すことが重要であることから、専門分野に関する幅広い基礎的な知識や能力を身に付けることが可能となる授業科目を配置することによる教育課程の編成としている。(資料A) ※教育課程等の概要

具体的には、専門分野の基礎的な理論や方法論の習得を中心とする教育内容を基礎としつつ、幅広い基礎力の習得を重視した教育課程の編成としているとともに、教育上の目的を明確にし、それらを達成するために必要な科目区分の設定や科目区分の科目構成、科目の対応関係、履修順序や配当年次などに配慮した体系的な教育課程の編成としている。

#### ① 国際文化交流学科

国際文化交流学科では、広い視野と教養を身に付けるとともに、国際文化に関する学修を通じて、「世界」や「世界における日本」への深い知識と洞察力を持ち、多文化に開かれた態度によって、文化間の相互理解と交流に貢献できる人材、国際的視点から日本文化の特徴を認識できる人材、世界と日本を文化交流とコミュニケーションでつなぐことのできる人材を養成することとしている。

国際文化交流学科では、この養成する人材の目的を達成するために、教育課程を「共通教養科目」と「専攻科目」の科目群から編成しており、「共通教養科目」では、「現代職業人に求められる広い視野と教養を身に付ける」ことから、大学で学ぶための技法と思考力を養成する「FYS」をはじめ、「外国語科目」、「人文の分野」、「社会の分野」、「自然の分野」、「人間形成の分野」から編成される「共通基盤科目」と、「グローバル経済を学ぶ」、「社会と人間」、「科学技術と社会」、「生と死を考える」、「公共の新しいかたちをもとめて」から編成される「共通テーマ科目」の科目群により編成している。

「共通基盤科目」における科目群ごとの授業科目数と単位数は、「FYS」1科目2単位、「外国語科目」152科目152単位、「人文の分野」29科目58単位、「社会の分野」27科目54単位、「自然の分野」33科目66単位、「人間形成の分野」16科目24単位としており、「共通基盤科目」全体として、258科目356単位を配置している。

「共通テーマ科目」における科目群ごとの授業科目数と単位数は、「グローバル経済を学ぶ」3科目6単位、「社会と人間」3科目6単位、「科学技術と社会」6科目12単位、「生と死を考える」3科目6単位、「公共の新しいかたちをもとめて」3科目6単位としており、「共通テーマ科目」全体として、18科目36単位を配置している。

一方、「専攻科目」においては、基礎、基本を重視し、専門の骨格を正確に把握させるとともに、科目間の関係や履修の順序、単位数等に配慮し、系統性と順次性のある教育課程を編成することとしており、専門教育を体系的に展開することから、「基幹科目」、「展開科目」、「関連科目」の科目群により編成している。

「基幹科目」の授業科目数と単位数は、「学部教養科目」21科目42単位、「演習・ゼミナール」8科目18単位、「学科入門科目」4科目8単位としており、「基幹科目」全体として、必修科目8科目16単位、選択科目25科目52単位の合計33科目68単位を配置している。

「展開科目」の授業科目数と単位数は、「英語・基礎、英語・応用、英語・選択、英語・

留学」42科目60単位、「英語以外の外国語、英語以外・留学」106科目137単位、「文化交流科目」18科目36単位、「観光文化科目」21科目42単位、「国際日本学科目」23科目46単位、「言語・メディア科目」25科目50単位、「専門・留学」8科目23単位としており、「展開科目」全体として243科目394単位を配置している。

「関連科目」の授業科目数と単位数は、「実地・留学」2科目6単位、「日本語教育研究」10科目20単位、「関連科目」24科目39単位としており、「関連科目」全体として36科目65単位を配置し、教育課程全体を通して、専門的な知識や能力を体系的に身に付けるための教育課程の編成としている。

## ② 日本文化学科

日本文化学科では、広い視野と教養を身に付けるとともに、日本語の特質及びその特質から生み出された日本文化の諸相を、知識としてだけでなく技能面でも体得し、その一方で他文化への理解を深めつつ、異文化間の相互交流にも積極的に参画していける人材を養成することとしている。

日本文化学科では、この養成する人材の目的を達成するために、教育課程を「共通教養科目」と「専攻科目」の科目群から編成しており、「共通教養科目」では、「現代職業人に求められる広い視野と教養を身に付ける」ことから、大学で学ぶための技法と思考力を養成する「FYS」をはじめ、「外国語科目」、「人文の分野」、「社会の分野」、「自然の分野」、「人間形成の分野」から編成される「共通基盤科目」と、「グローバル経済を学ぶ」、「社会と人間」、「科学技術と社会」、「生と死を考える」、「公共の新しいかたちをもとめて」から編成される「共通テーマ科目」の科目群により編成している。

「共通基盤科目」における科目群ごとの授業科目数と単位数は、「FYS」1科目2単位、「外国語科目」192科目192単位、「人文の分野」29科目58単位、「社会の分野」27科目54単位、「自然の分野」33科目66単位、「人間形成の分野」16科目24単位としており、「共通基盤科目」全体として、298科目396単位を配置している。

「共通テーマ科目」における科目群ごとの授業科目数と単位数は、「グローバル経済を学ぶ」3科目6単位、「社会と人間」3科目6単位、「科学技術と社会」6科目12単位、「生と死を考える」3科目6単位、「公共の新しいかたちをもとめて」3科目6単位としており、「共通テーマ科目」全体として、18科目36単位を配置している。

一方、「専攻科目」においては、基礎、基本を重視し、専門の骨格を正確に把握させるとともに、科目間の関係や履修の順序、単位数等に配慮し、系統性と順次性のある教育課程を編成することとしており、専門教育を体系的に展開することから、「基幹科目」、「展開科目」、「関連科目」の科目群により編成している。

「基幹科目」の授業科目数と単位数は、「学部教養科目」21科目42単位、「演習・ゼミナール」16科目34単位としており、「基幹科目」全体として、必修科目3科目6単位、選択科目34科目70単位の合計37科目76単位を配置している。

「展開科目」の授業科目数と単位数は、「日本語学科目」8科目16単位、「日本文学科目」

8科目16単位、「文化・表象科目」18科目36単位、「日本文化発展科目」25科目52単位としており、「展開科目」全体として59科目120単位を配置している。

「関連科目」の授業科目数と単位数は、「日本語教育研究」10科目20単位、「関連科目」10科目27単位としており、「関連科目」全体として20科目47単位を配置し、教育課程全体を通して、専門的な知識や能力を体系的に身に付けるための教育課程の編成としている。

### ③ 歴史民俗学科

歴史民俗学科では、広い視野と教養を身に付けるとともに、長い歴史を誇る「日本常民文化研究所」で培った経験と方法により、日本の歴史及び文化について国際的な視点から考察することによって、地域における歴史と文化を深く、幅広く理解し、歴史文化の継承・保存や活用等の場面で活躍できる人材や、地域おこしなど地域活動で文化を活用して中核を担う人材を養成することとしている。

歴史民俗学科では、この養成する人材の目的を達成するために、教育課程を「共通教養科目」と「専攻科目」の科目群から編成しており、「共通教養科目」では、「現代職業人に求められる広い視野と教養を身に付ける」ことから、大学で学ぶための技法と思考力を養成する「FYS」をはじめ、「外国語科目」、「人文の分野」、「社会の分野」、「自然の分野」、「人間形成の分野」から編成される「共通基盤科目」と、「グローバル経済を学ぶ」、「社会と人間」、「科学技術と社会」、「生と死を考える」、「公共の新しいかたちをもとめて」から編成される「共通テーマ科目」の科目群により編成している。

「共通基盤科目」における科目群ごとの授業科目数と単位数は、「FYS」1科目2単位、「外国語科目」192科目192単位、「人文の分野」29科目58単位、「社会の分野」27科目54単位、「自然の分野」33科目66単位、「人間形成の分野」16科目24単位としており、「共通基盤科目」全体として、298科目396単位を配置している。

「共通テーマ科目」における科目群ごとの授業科目数と単位数は、「グローバル経済を学ぶ」3科目6単位、「社会と人間」3科目6単位、「科学技術と社会」6科目12単位、「生と死を考える」3科目6単位、「公共の新しいかたちをもとめて」3科目6単位としており、「共通テーマ科目」全体として、18科目36単位を配置している。

一方、「専攻科目」においては、基礎、基本を重視し、専門の骨格を正確に把握させるとともに、科目間の関係や履修の順序、単位数等に配慮し、系統性と順次性のある教育課程を編成することとしており、専門教育を体系的に展開することから、「基幹科目」、「展開科目」、「関連科目」の科目群により編成している。

「基幹科目」の授業科目数と単位数は、「学部教養科目」21科目42単位、「演習・ゼミナール」12科目26単位、「実習科目」9科目18単位としており、「基幹科目」全体として、必修科目10科目22単位、選択科目32科目64単位の合計42科目86単位を配置している。

「展開科目」の授業科目数と単位数は、「歴史分野」20科目40単位、「民俗分野」23科目46単位、「文化創生分野」24科目48単位としており、「展開科目」全体として67科目134単位を配置している。

「関連科目」の授業科目数と単位数は、11科目 31単位を配置し、教育課程全体を通して、専門的な知識や能力を体系的に身に付けるための教育課程の編成としている。

## (2) 教育方法及び履修指導方法の変更内容

### ① 教育方法

国際日本学部の授業方法は、学説や物事などの意味や内容の理解を目的とする教育内容については、講義形式による授業形態を採ることとし、知識や技能を実践に応用する能力の修得を目的とする教育内容については、演習形式及び実践・実習形式による授業形態を採ることとしている。

授業の内容に応じた学生数の設定については、授業の内容や授業の方法、施設や設備の状況、実践・実習や演習・研究の指導体制などの教育上の諸条件を考慮して、教育効果を十分にあげられる人数としている。

配当年次は、基礎から応用へと体系的な学習が可能となるよう配慮しており、専門教育においては、専門分野の教育内容ごとに知識や技能を修得し実践に応用するため、授業の内容と科目間の関係や履修の順序に留意するとともに、単位制度の制度設計の観点を踏まえて、特定の学年や学期において偏りのある履修登録がなされないような配当としている。

授業方法は、学生の能動的な学修への参加を促すことから、教室内でのグループ・ディスカッション、ディベート、グループ・ワーク等をはじめとする教授方法を取り入れることによる能動的学修を導入するとともに、学生の自由な発想力と創造性や感性を養い、実践的な調査力や分析力及び問題発見・解決能力を高めることから、身近な問題や事例を素材とするグループ協同作業で学ぶ問題解決型の学習方式を導入することとしている。

また、単位制度の実質化の観点を踏まえたうえで、学生の主体的な学習を促し、教室における授業と教室外の学習を合わせた充実した授業を展開することにより学習効果を高めることから、卒業の要件として学生が修得すべき単位数について、1年間に履修科目として登録することができる標準的な単位数の上限を48単位と定めることとしている。

さらに、卒業時における学生の質を確保する観点から、予め学生に対して各授業における学習目標やその目標を達成するための授業の方法や計画等を明示したうえで、成績評価基準や卒業認定基準を提示し、これに基づき厳格な評価を行うこととしている。

このように国際日本学部では、教育の質保証の観点を踏まえたうえで、教育方法の整備と充実に努めることとしているが、新たに学部を設置することから、今後とも状況等に応じて教育方法のさらなる整備と充実に努めることとする。

### ② 履修指導方法

履修指導方法は、授業を受ける学生に対して、教員が相談に応じる専用の時間を設けることにより、個別のきめ細やかな履修指導を行う体制を整えるとともに、履修ガイダンスを実施したうえで、学生の適性や能力に応じて学生の履修科目の選択に関する助言を行う専門的職員を配置し、個別の履修相談に応じるなど、学生への履修指導体制を整備することとしている。

また、学部教育段階では、基礎的な専門知識や技能を確実に修得させることに重点を置くことが重要であるとの認識のもとに、各専門分野の学問体系と学習段階に即した授業科目を配置しているとともに、単位制度の実質化を図る観点から、特定の学期における偏りのある履修登録を避け、学生が学習目標に沿った適切な授業科目の履修が可能となるよう養成する具体的な人材像に対応した典型的な履修モデルを提示することとしている。

このように、国際日本学部では、質保証システムの整備と確立に向けて、個別の学生に対する履修指導體制を整えることとしているが、新たに学部を設置することから、履修指導方法の継続的な整備と充実に努めることとする。

### (3) 教員組織の変更内容

教員組織については、教育課程の編成方針を踏まえたうえで、主要な分野の授業科目数や単位数に応じて、各教育内容における教育上、研究上又は実務上の優れた知識、能力及び実績を有する専任教員を配置しており、年齢構成においても特定の年齢層に偏ることのないよう配慮した組織としている。(資料B) ※専任教員の年齢構成・学位保有状況

また、国際日本学部の国際文化交流学科、日本文化学科、歴史民俗学科では、大学設置基準に定める基準教員数を上回る専任教員数を配置することから、教育上の支障はないものと考えているが、今般、新たな学部を設置することから、教員組織の継続的な整備と充実に努めることとする。

#### ① 国際文化交流学科

国際日本学部の国際文化交流学科では、大学設置基準に定める基準教員数 9 人に対して 36 人の教育上、研究上又は実務上の優れた知識、能力及び実績を有する専任教員を配置することとしており、職位別の配置計画は、教授 18 人、准教授 14 人、助教 4 人、年齢構成は、30 歳代 4 人、40 歳代 8 人、50 歳代 15 人、60 歳以上 9 人から構成することにより、教育研究水準の維持向上や教育研究の活性化に支障のないよう配慮した教員組織としている。

また、国際文化交流学科の専任教員の異動・採用計画は、既設の外国語学部の国際文化交流学科から 26 人（うち教授 14 人）を異動するとともに、新規に専任教員 10 人（うち教授 4 人）を採用することによる充実した教員組織としており、専任教員 1 人当たりの学生数は 18.9 人と、大学基準協会が示している「人文・社会系では 60 人以内」という水準を下回ることはないが、今後とも必要に応じて教員組織の一層の充実に努めることとする。

#### ② 日本文化学科

国際日本学部の日本文化学科では、大学設置基準に定める基準教員数 6 人に対して 10 人の教育上、研究上又は実務上の優れた知識、能力及び実績を有する専任教員を配置することとしており、職位別の配置計画は、教授 7 人、准教授 3 人、年齢構成は、40 歳代 3 人、50 歳代 3 人、60 歳以上 4 人から構成することにより、教育研究水準の維持向上や教育研究の活性化に支障のないよう配慮した教員組織としている。

また、日本文化学科の専任教員の異動・採用計画は、既設の外国語学部の国際文化交流学科から 6 人（うち教授 5 人）を異動するとともに、新規に専任教員 4 人（うち教授 2 人）を

採用することによる充実した教員組織としており、専任教員 1 人当たりの学生数は 24.0 人と、大学基準協会が示している「人文・社会系では 60 人以内」という水準を下回ることはないが、今後とも必要に応じて教員組織の一層の充実に努めることとする。

### ③ 歴史民俗学科

国際日本学部の歴史民俗学科では、大学設置基準に定める基準教員数 6 人に対して 13 人の教育上、研究上又は実務上の優れた知識、能力及び実績を有する専任教員を配置することとしており、職位別の配置計画は、教授 8 人、准教授 5 人、年齢構成は、40 歳代 2 人、50 歳代 2 人、60 歳以上 9 人から構成することにより、教育研究水準の維持向上や教育研究の活性化に支障のないよう配慮した教員組織としている。

また、歴史民俗学科の専任教員の異動・採用計画は、既設の外国語学部の国際文化交流学科から 4 人（うち教授 2 人）、法学部自治行政学科から 1 人、経済学部経済学科から 1 人（うち教授 1 人）を異動するとともに、新規に専任教員 7 人（うち教授 5 人）を採用することによる充実した教員組織としており、専任教員 1 人当たりの学生数は 21.5 人と、大学基準協会が示している「人文・社会系では 60 人以内」という水準を下回ることはないが、今後とも必要に応じて教員組織の一層の充実に努めることとする。

## （4）施設・設備の変更内容

### ① 校地、運動場の整備計画

本学の横浜キャンパスは、神奈川県横浜市神奈川区に位置し、現在、校地面積は 105,737 m<sup>2</sup>を有している。その内訳としては、校舎敷地面積が 55,303 m<sup>2</sup>、運動場面積が 40,078 m<sup>2</sup>となっており、運動用設備としては、野球場をはじめ、陸上競技場兼サッカー場、ラグビー場、テニスコートなどを備えているとともに、敷地内の空地を利用して、学生が休息するための十分な場所を確保することで、大学教育に相応しいキャンパス環境を整えている。

また、平成 33 年 4 月開設のみなとみらいキャンパスは、既に神奈川県横浜市西区に校地面積 7,848 m<sup>2</sup>を有しており、平成 32 年 11 月の竣工に向けて準備を進めている。

### ② 校舎等施設の整備計画

本学の横浜キャンパスでは、現在 37 棟の校舎等施設を有しており、その総面積は約 111,604 m<sup>2</sup>で、学部教育に必要となる主な教室等の内訳としては、講義室 109 室、演習室 98 室、実験・実習室 324 室、情報処理室 10 室の他、教員研究室 331 室、非常勤講師室、図書館、学長室、会議室、事務室、保健室、学生自習室、学生食堂などを整備している。

国際日本学部の設置に伴う校舎等施設の整備計画については、既存の校舎等施設を有効的に利用することとしており、国際日本学部の専任教員の研究室については、教員組織として計画している専任教員数 59 人（教授 33 人、准教授 22 人、助教 4 人）に対して、1 室当たり約 21 m<sup>2</sup>の専任教員研究室 59 室を設けることとしている。

また、平成 33 年 4 月開設のみなとみらいキャンパスについては、地下 1 階・地上 22 階建ての高層棟と地上 3 階建ての低層棟の 2 棟の校舎等施設（建設面積約 5,496 m<sup>2</sup>）の建設を計画しており、主な教室等として、講義室 59 室、演習室 45 室、情報処理室 2 室の他、教

員研究室 157 室（共同研究室 3 室含む）、非常勤講師室、図書館、ラーニングcommons、会議室、事務室、保健室、学生自習室、礼拝室、学生食堂などを整備することとしており、教育研究環境のさらなる整備と充実を図ることとしている。この教員研究室 157 室のうち 59 室については、平成 33 年 4 月に、みなとみらいキャンパスに研究室を移転する国際日本学部の専任教員が使用することとしている。

設備の整備計画については、現在、既設の学部等で使用している教具、校具、その他の備品（教育活動に必要なもので、前述に該当しない備品）を有効的に転用することとしている。

### ③ 図書等の資料及び図書館の整備計画

神奈川大学図書館は、現在、蔵書数約 1,415 千点を有している。そのキャンパス別の内訳は、横浜図書館で約 1,189 千点、平塚図書館で約 226 千点である。この点数に含まれる資料は、資産扱いとなる図書、視聴覚資料、製本雑誌である。利用者はキャンパスを問わず、両所蔵資料を利用することができる。

雑誌については、2 キャンパスで 13,185 タイトル（うち洋雑誌 5,097 タイトル）を所蔵しているが、現在は利用の面でも電子ジャーナルでの提供が主流となっており、電子ジャーナルの契約タイトルは 24,337 タイトルである。データベースのパッケージ契約により購読できるタイトルを含めると、平成 31 年 3 月現在で 294,254 タイトルである。

電子ジャーナル以外の電子リソースについては、各種データベース、電子書籍等を契約、購入しており、利用者はキャンパス内に限らず、Shibboleth 認証（学認）及び VPN 接続によりリモートでも利用できる環境を提供している。

国際日本学部の在学生在が主に利用する横浜図書館は、地下 2 階に積層書庫を持ち、地階から 3 階まで 4 階層の閲覧空間を持つ独立した建物（15 号館）と、隣接の 23 号館地下書庫及び 27 号館書庫で構成されている。地階は、グループ閲覧室、ミーティングコーナー、リフレッシュルームなど、ラーニングcommons機能を備えた閲覧室と、視聴覚資料閲覧室、各種講演会等を実施する視聴覚小ホールがある。1 階は、閲覧カウンターを中心として、利用頻度が多い資料及び受入の新しい和書を配架している開架閲覧室と、各種雑誌を配架している雑誌閲覧室からなり、貴重書を含む幅広い蔵書を紹介するための展示コーナーも設置している。2 階は、調べ物ができるフロアとして構成しており、レファレンスカウンターを中心に主に参考図書を配架し、通常の閲覧席に加えパソコンを備えた閲覧席、少人数教育に即した情報リテラシーセミナー室とグループ情報検索室等を設置している。3 階は、文庫・新書コーナーと大きな 3 つのタイプの異なる閲覧室を設置し、個人学習専用のフロアとなっている。館内には固定パソコンも設置しているが、館内貸出専用のノートパソコンも 30 台備えている。個人所有や貸出を受けたパソコン利用のため、各階に無線 LAN を整備している。また各フロアにコピー機も設置している。

本学においては、横浜図書館は中央館としての機能を果たし、部局や研究所等の資料も集中管理をしている。

本学図書館は、日本図書館協会や私立大学図書館協会への加盟をはじめ、神奈川県図書館



協会、横浜市内大学図書館コンソーシアムの主要メンバーとして活動しており、加えて、国立情報学研究所（NII）の目録所在情報システム（NACSIS-CAT/ILL）や、国立国会図書館のデジタル化資料送信サービスに参加している。また神奈川県立図書館や平塚市立図書館、大磯町立図書館との相互貸借を含む地域図書館との連携も積極的に図っている。平成31年度からはKL-NET（神奈川県図書館情報ネットワーク）にも加盟し、神奈川県内の公共図書館及び加盟大学との相互貸借を活発に行っていく予定である。

# 資料目次

## 資料 A 教育課程等の概要

国際日本学部国際文化交流学科

国際日本学部日本文化学科

国際日本学部歴史民俗学科

## 資料 B 専任教員の年齢構成・学位保有状況

教 育 課 程 等 の 概 要

(国際日本学部国際文化交流学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通 教養 科目	FYS(First Year Seminar)	1前・後	2				○		3	4				兼6
	小計(1科目)	—	2	0	0		—		3	4	0	0	0	兼6 —
	英語コミュニケーション(Listening) I	1前	1				○		7	3				兼16
	英語コミュニケーション(Listening) II	1後	1				○		7	3				兼16
	英語コミュニケーション(Reading) I	2前	1				○		5	1				兼15
	英語コミュニケーション(Reading) II	2後	1				○		5	1				兼15
	英語ライティング基礎 I	1前	1				○							兼8
	英語ライティング基礎 II	1後	1				○							兼6
	英語ライティング応用 I	2前	1				○							兼8
	英語ライティング応用 II	2後	1				○							兼6
	Academic Writing A	1・2・3・4前			1		○							兼1
	Academic Writing B	1・2・3・4後			1		○							兼1
	Academic Reading A	1・2・3・4前			1		○							兼1
	Academic Reading B	1・2・3・4後			1		○							兼1
	英語読解・上級 I	1・2・3・4前			1		○							兼1
	英語読解・上級 II	1・2・3・4後			1		○							兼1
	英語作文・初級 I	1・2・3・4前			1		○							兼1
	英語作文・初級 II	1・2・3・4後			1		○							兼1
	英語作文・中級 I	1・2・3・4前			1		○							兼1
	英語作文・中級 II	1・2・3・4後			1		○							兼1
	英語作文・上級 I	1・2・3・4前			1		○							兼1
	英語作文・上級 II	1・2・3・4後			1		○							兼1
	英語会話・入門 I	1・2・3・4前			1		○							兼1
	英語会話・入門 II	1・2・3・4後			1		○							兼1
	英語会話・初級 I	1・2・3・4前			1		○							兼7
	英語会話・初級 II	1・2・3・4後			1		○							兼7
	英語会話・中級 I	1・2・3・4前			1		○							兼2
	英語会話・中級 II	1・2・3・4後			1		○							兼2
	英語会話・上級 I	1・2・3・4前			1		○							兼1
	英語会話・上級 II	1・2・3・4後			1		○			1				
	英語リスニング・初級 I	1・2・3・4前			1		○							兼2
	英語リスニング・初級 II	1・2・3・4後			1		○							兼2
	英語リスニング・中級 I	1・2・3・4前			1		○							兼1
	英語リスニング・中級 II	1・2・3・4後			1		○							兼1
	英語リスニング・上級 I	1・2・3・4前			1		○							兼1
	英語リスニング・上級 II	1・2・3・4後			1		○			1				
	英語・再入門 I	1・2・3・4前			1		○							兼2
	英語・再入門 II	1・2・3・4後			1		○							兼2
	TOEIC演習・初級 I	1・2・3・4前			1		○			1				兼6
	TOEIC演習・初級 II	1・2・3・4後			1		○				1			兼6
	TOEIC演習・中級 I	1・2・3・4前			1		○				1			兼3
	TOEIC演習・中級 II	1・2・3・4後			1		○				1			兼2
	TOEIC演習・上級 I	1・2・3・4前			1		○							兼1
	TOEIC演習・上級 II	1・2・3・4後			1		○							兼1
	TOEFL演習・初級 I	1・2・3・4前			1		○			1				
	TOEFL演習・初級 II	1・2・3・4後			1		○			1				
ドイツ語初級A I	1前			1		○				1			兼4	
ドイツ語初級A II	1後			1		○				1			兼4	
ドイツ語初級B I	1前			1		○							兼5	
ドイツ語初級B II	1後			1		○							兼5	
フランス語初級A I	1前			1		○					1		兼3	
フランス語初級A II	1後			1		○					1		兼3	
フランス語初級B I	1前			1		○			1			1	兼1	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
共 通 教 養 科 目	共 通 基 盤 科 目  外 国 語 科 目	フランス語初級BⅡ	1後	1			○		1			1		兼1
		スペイン語初級AⅠ	1前	1			○							兼5
		スペイン語初級AⅡ	1後	1			○							兼5
		スペイン語初級BⅠ	1前	1			○							兼5
		スペイン語初級BⅡ	1後	1			○							兼5
		ロシア語初級AⅠ	1前	1			○							兼3
		ロシア語初級AⅡ	1後	1			○							兼3
		ロシア語初級BⅠ	1前	1			○			1				兼1
		ロシア語初級BⅡ	1後	1			○			1				兼1
		中国語初級AⅠ	1前	1			○							兼5
		中国語初級AⅡ	1後	1			○							兼5
		中国語初級BⅠ	1前	1			○							兼5
		中国語初級BⅡ	1後	1			○							兼6
		韓国語初級AⅠ	1前	1			○							兼4
		韓国語初級AⅡ	1後	1			○							兼4
		韓国語初級BⅠ	1前	1			○			1				兼4
		韓国語初級BⅡ	1後	1			○			1				兼4
		ドイツ語中級AⅠ	2前	1			○			1				
		ドイツ語中級AⅡ	2後	1			○			1				
		ドイツ語中級BⅠ	2前	1			○							兼1
		ドイツ語中級BⅡ	2後	1			○							兼1
		ドイツ語中級CⅠ	2前	1			○							兼1
		ドイツ語中級CⅡ	2後	1			○							兼1
		ドイツ語中級DⅠ	2前	1			○							兼2
		ドイツ語中級DⅡ	2後	1			○							兼2
		フランス語中級AⅠ	2前	1			○			1				
		フランス語中級AⅡ	2後	1			○			1				
		フランス語中級BⅠ	2前	1			○							兼1
		フランス語中級BⅡ	2後	1			○							兼1
		フランス語中級CⅠ	2前	1			○							兼1
		フランス語中級CⅡ	2後	1			○							兼1
		フランス語中級DⅠ	2前	1			○							兼1
		フランス語中級DⅡ	2後	1			○							兼1
		スペイン語中級AⅠ	2前	1			○							兼2
		スペイン語中級AⅡ	2後	1			○							兼2
		スペイン語中級BⅠ	2前	1			○							兼2
		スペイン語中級BⅡ	2後	1			○							兼2
		スペイン語中級CⅠ	2前	1			○							兼2
		スペイン語中級CⅡ	2後	1			○							兼2
		スペイン語中級DⅠ	2前	1			○							兼2
		スペイン語中級DⅡ	2後	1			○							兼2
		ロシア語中級AⅠ	2前	1			○			1				
		ロシア語中級AⅡ	2後	1			○			1				
		ロシア語中級BⅠ	2前	1			○							兼1
		ロシア語中級BⅡ	2後	1			○							兼1
ロシア語中級CⅠ	2前	1			○							兼1		
ロシア語中級CⅡ	2後	1			○							兼1		
ロシア語中級DⅠ	2前	1			○							兼1		
ロシア語中級DⅡ	2後	1			○							兼1		
中国語中級AⅠ	2前	1			○							兼1		
中国語中級AⅡ	2後	1			○							兼1		
中国語中級BⅠ	2前	1			○							兼2		
中国語中級BⅡ	2後	1			○							兼2		
中国語中級CⅠ	2前	1			○							兼2		
中国語中級CⅡ	2後	1			○							兼2		
中国語中級DⅠ	2前	1			○							兼2		
中国語中級DⅡ	2後	1			○							兼2		
韓国語中級AⅠ	2前	1			○			1						



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通教養科目	人文の分野	世界史Ⅱ		2		○				2					兼3
		日本史Ⅰ		2		○									兼4
		日本史Ⅱ		2		○									兼4
		宗教学Ⅰ		2		○				1					兼1
		宗教学Ⅱ		2		○				1					兼1
		民俗学Ⅰ		2		○									兼2
		民俗学Ⅱ		2		○									兼2
		考古学Ⅰ		2		○									兼2
		考古学Ⅱ		2		○									兼2
		芸術論Ⅰ(音楽)		2		○									兼1
		芸術論Ⅱ(美術)		2		○									兼1
		文化交流論Ⅰ		2		○					1				
		文化交流論Ⅱ		2		○					1				
		手話入門		2		○									兼3
	日本事情(歴史)		2		○									兼1	
	小計(29科目)	—	0	58	0	—				1	5	0	0	0	兼33
	社会の分野	社会科学入門	1・2前		2		○								兼1
		社会学Ⅰ	1・2・3・4前		2		○								兼2
		社会学Ⅱ	1・2・3・4後		2		○								兼2
		環境科学Ⅰ	1・2・3・4前		2		○								兼4
		環境科学Ⅱ	1・2・3・4後		2		○								兼4
		文化人類学Ⅰ	1・2・3・4前		2		○								兼2
		文化人類学Ⅱ	1・2・3・4後		2		○								兼2
		人文地理学Ⅰ	1・2・3・4前		2		○								兼3
		人文地理学Ⅱ	1・2・3・4後		2		○								兼3
		国際関係概論Ⅰ	1・2・3・4前		2		○								兼2
		国際関係概論Ⅱ	1・2・3・4後		2		○								兼1
		社会心理学Ⅰ	1・2・3・4前		2		○								兼2
		社会心理学Ⅱ	1・2・3・4後		2		○								兼2
		現代社会思想論Ⅰ	1・2・3・4前		2		○								兼1
現代社会思想論Ⅱ		1・2・3・4後		2		○								兼1	
法学Ⅰ		1・2・3・4前		2		○								兼4	
法学Ⅱ		1・2・3・4後		2		○								兼5	
日本国憲法		1・2・3・4前		2		○								兼2	
政治学Ⅰ		1・2・3・4前		2		○								兼6	
政治学Ⅱ		1・2・3・4後		2		○								兼5	
経済学Ⅰ		1・2・3・4前		2		○								兼3	
経済学Ⅱ	1・2・3・4後		2		○								兼3		
ジェンダー論Ⅰ	1・2・3・4前		2		○								兼3		
ジェンダー論Ⅱ	1・2・3・4後		2		○								兼3		
日本事情(法律)	1・2・3・4後		2		○								兼1		
日本事情(政治)	1・2・3・4後		2		○								兼1		
日本事情(経済)	1・2・3・4前		2		○								兼1		
小計(27科目)	—	0	54	0	—				0	0	0	0	0	兼35	
自然の分野	自然科学入門	1・2前		2		○								兼10	
	数学Ⅰ	1・2・3・4前		2		○								兼2	
	数学Ⅱ	1・2・3・4後		2		○								兼2	
	統計学Ⅰ	1・2・3・4前		2		○								兼2	
	統計学Ⅱ	1・2・3・4後		2		○								兼2	
	物理科学Ⅰ	1・2・3・4前		2		○								兼3	
	物理科学Ⅱ	1・2・3・4後		2		○								兼3	
	化学Ⅰ	1・2・3・4前		2		○								兼3	
	化学Ⅱ	1・2・3・4後		2		○								兼3	
	生物学Ⅰ	1・2・3・4前		2		○								兼3	
	生物学Ⅱ	1・2・3・4後		2		○								兼3	
	工学Ⅰ	1・2・3・4前		2		○								兼1	
	工学Ⅱ	1・2・3・4後		2		○								兼1	
	宇宙科学Ⅰ	1・2・3・4前		2		○								兼2	

隔年開講

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通基盤科目	宇宙科学Ⅱ	1・2・3・4後		2		○									兼1	
	自然人類学Ⅰ	1・2・3・4前		2		○									兼1	
	自然人類学Ⅱ	1・2・3・4後		2		○									兼1	
	自然科学論Ⅰ	1・2・3・4前		2		○									兼2	
	自然科学論Ⅱ	1・2・3・4後		2		○									兼3	
	科学技術史Ⅰ	1・2・3・4前		2		○									兼1	
	科学技術史Ⅱ	1・2・3・4後		2		○									兼1	
	技術論Ⅰ	1・2・3・4前		2		○									兼1	
	技術論Ⅱ	1・2・3・4後		2		○									兼1	
	情報処理概論	1・2・3・4前		2		○									兼1	
	情報機器活用	1・2・3・4前・後		2		○									兼5	
	プログラミング基礎	1・2・3・4前・後		2		○									兼3	
	情報とコミュニケーション	1・2・3・4後		2		○									兼2	
	情報科学基礎	1・2・3・4後		2		○									兼1	
	情報化社会と人間Ⅰ	1・2・3・4前		2		○									兼1	
	情報化社会と人間Ⅱ	1・2・3・4後		2		○									兼1	
	建築と都市Ⅰ	1・2・3・4前		2		○									兼1	
	建築と都市Ⅱ	1・2・3・4後		2		○									兼1	
	日本事情(自然)	1・2・3・4後		2		○									兼1	
	小計(33科目)	—	—	0	66	0	—	—	—	0	0	0	0	0	兼40	—
	共通教養科目	人間形成入門	1・2前		2		○									兼1
		キャリア形成Ⅰ	1前			1		○								兼15
		キャリア形成Ⅱ	1後			1		○								兼11
		キャリア形成Ⅲ	2前			1		○								兼4
		キャリア形成Ⅳ	2後			1		○								兼3
		国内インターンシップ	2前			2		○								兼2
		海外インターンシップ	2前		2			○								兼1
		神奈川大学の歴史と建学の精神	1・2・3・4前		2		○									兼1
		健康科学とスポーツⅠ	1・2・3・4前		1				○							兼23
		健康科学とスポーツⅡ	1・2・3・4後		1				○							兼23
		社会生活とスポーツⅠ	1・2・3・4後		2		○									兼1
		社会生活とスポーツⅡ	1・2・3・4後		2		○									兼1
		社会生活とスポーツⅢ	1・2・3・4後		2		○									兼1
スポーツ文化Ⅰ		1・2・3・4前		1				○							兼15	
スポーツ文化Ⅱ		1・2・3・4後		1				○							兼16	
スポーツ文化Ⅲ		1・2・3・4前・後		2				○							兼3	
小計(16科目)	—	—	0	18	6	—	—	—	0	0	0	0	0	兼50	—	
共通テーマ科目	グローバル経済を学ぶⅠ	1・2・3・4前・後		2		○									兼1	
	グローバル経済を学ぶⅡ	1・2・3・4前・後		2		○									兼1	
	グローバル経済を学ぶⅢ	1・2・3・4前・後		2		○									兼1	
	小計(3科目)	—	—	0	6	0	—	—	0	0	0	0	0	兼3	—	
	社会と人間Ⅰ	1・2・3・4前・後		2		○									兼2	
	社会と人間Ⅱ	1・2・3・4前・後		2		○									兼1	
	社会と人間Ⅲ	1・2・3・4前・後		2		○									兼1	
	小計(3科目)	—	—	0	6	0	—	—	0	0	0	0	0	兼4	—	
	科学技術と社会Ⅰ	1・2・3・4前		2		○									兼1	
	科学技術と社会Ⅱ	1・2・3・4後		2		○									兼1	
	科学技術と社会Ⅲ	1・2・3・4前		2		○									兼1	
	科学技術と社会Ⅳ	1・2・3・4後		2		○									兼1	
	科学技術と社会Ⅴ	1・2・3・4前		2		○									兼1	
	科学技術と社会Ⅵ	1・2・3・4後		2		○									兼1	
	小計(6科目)	—	—	0	12	0	—	—	—	0	0	0	0	0	兼3	—
生と死を考えるⅠ	1・2・3・4前・後		2		○					1				兼3		
生と死を考えるⅡ	1・2・3・4前・後		2		○									兼2		
生と死を考えるⅢ	1・2・3・4前・後		2		○					1				兼2		
小計(3科目)	—	—	0	6	0	—	—	—	0	2	0	0	0	兼7	—	

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通教養科目	共通テーマ科目	公共の新しいかたちをもとめて	公共の新しいかたちをもとめてⅠ	1・2・3・4前・後		2		○								兼3	
			公共の新しいかたちをもとめてⅡ	1・2・3・4前・後		2		○									兼1
			公共の新しいかたちをもとめてⅢ	1・2・3・4前・後		2		○									兼1
			小計(3科目)	—	0	6	0	—	0	0	0	0	0	0	0	0	兼5
専攻科目	基幹科目	学部教養科目	横浜の歴史と民俗A	1・2・3・4前		2		○								兼1	
			オリエンタリズム論	1・2・3・4後		2		○			1	1					共同
			戦争と歴史認識	1・2・3・4後		2		○									兼1
			比較思想論	1・2・3・4前		2		○									兼1
			異文化コミュニケーション論	1・2・3・4前		2		○			1						
			ことばと文化	1・2・3・4後		2		○			1						
			ことばと人間	1・2・3・4後		2		○			1						
			ことばとメディア	1・2・3・4前		2		○									兼1
			メディア・リテラシー	1・2・3・4前		2		○									兼1
			日本文化論	1・2・3・4前		2		○									兼1
			多文化共生論	1・2・3・4後		2		○			1						
			文化とアイデンティティ	1・2・3・4後		2		○									兼1
			ジェンダー文化論	1・2・3・4後		2		○			1						
			国際倫理学	1・2・3・4前		2		○									兼1
			国際宗教論	1・2・3・4前		2		○				1					
			国際文化交流論	1・2・3・4前		2		○				1					
			国際平和論	1・2・3・4後		2		○									兼1
			現代国際関係論	1・2・3・4前		2		○									兼1
			横浜と観光	1・2・3・4後		2		○			2	4		1			オムニバス
			観光文化論	1・2・3・4前		2		○				1					
			世界地域論	1・2・3・4後		2		○				1					
小計(21科目)	—	0	42	0	—	8	7	0	1	0	兼8	—					
専攻科目	演習・ゼミナール	基礎ゼミナール	1後		2			○			3						
		専門演習Ⅰ	2前	2				○		4	3		1				
		専門演習Ⅱ	2後	2					○		4	3		1			
		ゼミナールⅠ	3前	2					○		18	13		4		兼1	
		ゼミナールⅡ	3後	2					○		18	13		4		兼1	
		卒業研究Ⅰ	4前		2				○		18	13		4		兼1	
		卒業研究Ⅱ	4後		2				○		18	13		4		兼1	
		卒業論文	4通		4				○		18	13		4		兼1	
		小計(8科目)	—	8	10	0	—	18	13	0	4	0	兼1	—			
		専攻科目	学科入門科目	文化交流入門	1前	2				○		2	5				兼1
ことば学入門	1前			2				○		9	3				兼2	オムニバス	
国際日本学入門	1後			2					○	4	1		3			オムニバス	
観光文化入門	1後			2					○	2	4		1			オムニバス	
小計(4科目)	—			8	0	0	—	17	13	0	4	0	兼3	—			
展開科目	英語・基礎	Reading in Content AreasⅠ	2・3・4前		1			○		2			1			兼1	
		Reading in Content AreasⅡ	2・3・4後		1			○		2			1			兼1	
		Intermediate Composition	2・3・4前		1				○			1				兼3	
		Intro to Academic Writing	2・3・4後		1				○			1				兼3	
		Public Speaking BⅠ	2・3・4前		1				○							兼4	
		Public Speaking BⅡ	2・3・4後		1				○							兼4	
	英語・応用	Critical ThinkingⅠ	2・3・4前		1				○		1					兼1	
		Critical ThinkingⅡ	2・3・4後		1				○		1					兼1	
		Academic WritingⅠ	2・3・4前		1				○		1	1					
		Academic WritingⅡ	2・3・4後		1				○		1	1					
		Public Speaking AⅠ	2・3・4前		1				○							兼2	
	Public Speaking AⅡ	2・3・4後		1				○							兼2		
	英語・選択	English Learning StrategiesⅠ	1前		1				○			1				兼1	
		English Learning StrategiesⅡ	1後		1				○			1				兼1	
		Vocabulary SkillsⅠ	1前		1				○							兼1	
Vocabulary SkillsⅡ		1後		1				○							兼1		
English for Professional Purposes	1・2・3・4後		1				○							兼1			
Intensive English Practicum	1・2・3・4後		4				○		1								





科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
専 攻 科 目	展 開 科 目	英 語 以 外 の 外 国 語	日本語(作文1)II	1後				○								兼1
			日本語(作文2) I	1前	1			○								兼1
			日本語(作文2)II	1後	1			○								兼1
			日本語(応用1) I	1前	1			○								兼1
			日本語(応用1)II	1後	1			○								兼1
			日本語(応用2) I	1前	1			○				1				
			日本語(応用2)II	1後	1			○				1				
			応用イタリア語A I	2前	1			○						1		
			応用イタリア語AII	2後	1			○						1		
			応用イタリア語B I	2前	1			○								兼1
			応用イタリア語BII	2後	1			○								兼1
			応用韓国語A I	2前	1			○								兼1
			応用韓国語AII	2後	1			○								兼1
			応用韓国語B I	2前	1			○				1				
			応用韓国語BII	2後	1			○				1				
			応用スペイン語A I	2前	1			○								兼1
			応用スペイン語AII	2後	1			○								兼1
			応用スペイン語B I	2前	1			○								兼1
			応用スペイン語BII	2後	1			○								兼1
			応用中国語A I	2前	1			○						1		
			応用中国語AII	2後	1			○						1		
			応用中国語B I	2前	1			○								兼1
			応用中国語BII	2後	1			○								兼1
			応用ドイツ語A I	2前	1			○					1			
			応用ドイツ語AII	2後	1			○					1			
			応用ドイツ語B I	2前	1			○				1				
			応用ドイツ語BII	2後	1			○				1				
			応用フランス語A I	2前	1			○						1		
			応用フランス語AII	2後	1			○						1		
			応用フランス語B I	2前	1			○				1				
			応用フランス語BII	2後	1			○				1				
			応用ロシア語A I	2前	1			○				1				
			応用ロシア語AII	2後	1			○				1				
			応用ロシア語B I	2前	1			○								兼1
			応用ロシア語BII	2後	1			○								兼1
			日本語演習(応用)B I	2前	1			○					1			
			日本語演習(応用)BII	2後	1			○					1			
			日本語演習(知識)B I	2前	1			○								兼1
			日本語演習(知識)BII	2後	1			○								兼1
			日本語演習(理解)B I	2前	1			○								兼1
			日本語演習(理解)BII	2後	1			○								兼1
			日本語演習(知識)C I	2前	1			○					1			
			日本語演習(知識)CII	2後	1			○					1			
			日本語演習(理解)C I	2前	1			○								兼1
			日本語演習(理解)CII	2後	1			○								兼1
日本語演習(音声) I	2前	1			○								兼1			
日本語演習(音声)II	2後	1			○								兼1			
日本語演習(表現) I	2前	1			○					1						
日本語演習(表現)II	2後	1			○					1						
特講イタリア語 I	3・4前	2			○							1				
特講イタリア語 II	3・4後	2			○							1				
特講韓国語 I	3・4前	2			○								兼1			
特講韓国語 II	3・4後	2			○				1							
特講スペイン語 I	3・4前	2			○								兼1			
特講スペイン語 II	3・4後	2			○								兼1			
特講中国語 I	3・4前	2			○						1					
特講中国語 II	3・4後	2			○						1					
特講ドイツ語 I	3・4前	2			○					1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専攻科目	英語以外の外国語	特講ドイツ語Ⅱ	3・4後	2		○			1						
		特講フランス語Ⅰ	3・4前	2		○						1			
		特講フランス語Ⅱ	3・4後	2		○			1						
		特講ロシア語Ⅰ	3・4前	2		○			1						
		特講ロシア語Ⅱ	3・4後	2		○			1						
		特講日本語Ⅰ	3・4前	2		○				1					
		特講日本語Ⅱ	3・4後	2		○				1					
	英語以外・留学	派遣交換留学(語学)E	1・2・3・4前・後		1			○		3	1				
		派遣交換留学(語学)F	1・2・3・4前・後		2			○		3	1				
		派遣交換留学(語学)G	1・2・3・4前・後		4			○		3	1				
		派遣交換留学(語学)H	1・2・3・4前・後		8			○		3	1				
		推薦語学研修Ⅴ	1・2・3・4前・後		2			○		3	1				
		推薦語学研修Ⅵ	1・2・3・4前・後		2			○		3	1				
		推薦語学研修Ⅶ	1・2・3・4前・後		2			○		3	1				
		推薦語学研修Ⅷ	1・2・3・4前・後		2			○		3	1				
	小計(106科目)	—	0	137	0	—	—	—	6	3	0	3	0	兼12	—
	文化交流科目	文化交流論(社会)	1・2・3・4前		2		○			1					
		文化交流論(芸術)	1・2・3・4前		2		○					1			
		文化交流論(宗教)	1・2・3・4後		2		○				1				
		文化交流論(生活)	1・2・3・4後		2		○				1				
		文化交流論(表象)	1・2・3・4前		2		○				1				
		文化交流論(文学)	1・2・3・4前		2		○				1				
		文化交流論(現代文化)	1・2・3・4後		2		○			1					
		文化交流論(歴史)	1・2・3・4後		2		○				1				
		比較文化論	1・2・3・4後		2		○			1					
		地域文化論(中国)	1・2・3・4前		2		○				1				
		地域文化論(韓国)	1・2・3・4前		2		○								兼1
		地域文化論(東南アジア)	1・2・3・4前		2		○								兼1
		地域文化論(イスラーム圏)	1・2・3・4後		2		○				1				
		地域文化論(アフリカ)	1・2・3・4後		2		○								兼1
		地域文化論(ヨーロッパA)	1・2・3・4前		2		○				1				
	地域文化論(ヨーロッパB)	1・2・3・4前		2		○			1						
	地域文化論(北アメリカ)	1・2・3・4後		2		○								兼1	
地域文化論(ラテンアメリカ)	1・2・3・4後		2		○								兼1		
小計(18科目)	—	0	36	0	—	—	—	4	6	0	1	0	兼5	—	
観光文化科目	国際観光論	1・2・3・4前		2		○						1			
	観光文化史	1・2・3・4前		2		○				1					
	人文観光資源論	1・2・3・4前		2		○			1						
	観光行動論	1・2・3・4後		2		○			1						
	観光交流論	1・2・3・4後		2		○				1					
	コミュニティと地域観光文化	1・2・3・4後		2		○			1						
	観光と現代社会	1・2・3・4前		2		○			1						
	観光地理学	1・2・3・4前		2		○				1					
	観光と持続可能性	1・2・3・4前		2		○				1					
	観光メディア論	1・2・3・4後		2		○								兼1	
	English for the Tourism Industry A	1・2・3・4前		2		○				1					
	English for the Tourism Industry B	1・2・3・4後		2		○				1					
	観光文化事業論	1・2・3・4後		2		○				1					
	観光通訳演習	1・2・3・4前		2		○								兼1	
	Communication Skills in Business	1・2・3・4前		2		○						1			
	観光インターンシップ(海外)	1・2・3・4後		2				○				1			
	観光インターンシップ(国内)	1・2・3・4後		2				○		1					
観光翻訳論	1・2・3・4後		2		○								兼1		
文化創生概論	1・2・3・4前		2		○								兼1		
文化資源論	1・2・3・4後		2		○								兼1		
観光の民俗	1・2・3・4後		2		○								兼1		
小計(21科目)	—	0	42	0	—	—	—	2	4	0	1	0	兼5	—	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考						
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手							
専 展 開 攻 科 目	国 際 日 本 学 科 目	国際日本文化論(宗教)		2		○			1											
		国際日本文化論(歴史)	1・2・3・4後	2		○						1								
		国際日本文化論(言語)	1・2・3・4前	2		○					1									
		国際日本文化論(古典文学)	1・2・3・4前	2		○					1									
		国際日本文化論(近現代文学)	1・2・3・4後	2		○					1									
		国際日本文化論(現代文化)	1・2・3・4後	2		○				1										
		国際日本文化論(文化受容)	1・2・3・4前	2		○				1										
		国際日本文化論(美術)	1・2・3・4後	2		○							1							
		国際日本文化論(舞台芸術)	1・2・3・4前	2		○				1										
		国際日本文化論(映像メディア)	1・2・3・4前	2		○				1										
		国際日本文化論(社会)	1・2・3・4後	2		○							1							
		日本文化論(宗教)	1・2・3・4前	2		○													兼1	
		日本文化論(歴史)	1・2・3・4前	2		○													兼4	
		日本文化論(言語)	1・2・3・4後	2		○													兼1	
		日本文化論(古典文学)	2・3・4前	2		○													兼1	
		日本文化論(近現代文学)	2・3・4後	2		○													兼1	
		日本文化論(現代文化)	1・2・3・4前	2		○													兼1	
		日本文化論(文化受容)	1・2・3・4後	2		○													兼1	
		日本文化論(古典芸能)	1・2・3・4後	2		○													兼1	
		日本文化論(美術)	1・2・3・4前	2		○													兼1	
		日本文化論(舞台芸術)	1・2・3・4前	2		○													兼1	
		日本文化論(映像メディア)	1・2・3・4後	2		○													兼1	
		日本文化論(社会)	1・2・3・4前	2		○													兼1	
	小計(23科目)	—	0	46	0	—			4	1	0	3	0		兼11	—				
言 語 ・ メ デ ィ ア 科 目	こ と ば の 仕 組 み A こ と ば の 仕 組 み B 外 国 語 の 習 得 論 A 外 国 語 の 習 得 論 B こ と ば と 心 こ と ば と ヒ ト ・ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン こ と ば 学 の 基 礎 こ と ば の 発 達 論 こ と ば の 意 味 こ と ば の 音 こ と ば と 社 会 こ と ば の 比 較 多 文 化 社 会 と 言 語 政 策 言 語 メ デ ィ ア 論 こ と ば と 放 送 メ デ ィ ア ( コ ン テ ン ツ) こ と ば と 出 版 メ デ ィ ア ( 編 集 ・ 実 務) こ と ば と ソ ー シ ャ ル メ デ ィ ア こ と ば と 放 送 メ デ ィ ア ( 実 務) こ と ば と 広 告 メ デ ィ ア こ と ば と ジ ャ ー ナ リ ズ ム A こ と ば と ジ ャ ー ナ リ ズ ム B こ と ば と マ ス メ デ ィ ア A こ と ば と マ ス メ デ ィ ア B メ デ ィ ア ・ デ ィ ス コ ー ス 論 博 物 館 情 報 ・ メ デ ィ ア 論	1・2・3・4前		2		○				1										
		1・2・3・4後		2		○				1										
		1・2・3・4前		2		○				1										
		1・2・3・4後		2		○					1									
		1・2・3・4前		2		○				1										
		1・2・3・4後		2		○				1										
		1・2・3・4前		2		○				1										
		1・2・3・4後		2		○							1							
		1・2・3・4前		2		○				1										
		1・2・3・4後		2		○							1							
		1・2・3・4前		2		○				1										
		1・2・3・4後		2		○														
		1・2・3・4前		2		○														
		1・2・3・4後		2		○														
		1・2・3・4前		2		○				1										
		2・3・4前		2		○														
			小計(25科目)	—	0	50	0	—			10	3	0	0	0		兼4	—		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
展開科目	専門・留学	海外文化研修Ⅰ	1・2・3・4前・後	2			○			3	1						
		海外文化研修Ⅱ	1・2・3・4前・後	2			○			3	1						
		海外文化研修Ⅲ	1・2・3・4前・後	2			○			3	1						
		海外文化研修Ⅳ	1・2・3・4前・後	2			○			3	1						
		派遣交換留学(専門)A	1・2・3・4前・後	1			○			3	1						
		派遣交換留学(専門)B	1・2・3・4前・後	2			○			3	1						
		派遣交換留学(専門)C	1・2・3・4前・後	4			○			3	1						
		派遣交換留学(専門)D	1・2・3・4前・後	8			○			3	1						
小計(8科目)	—	0	23	0	—				3	1	0	0	0	兼0	—		
専攻科目	実地・留学	派遣交換留学(実地研修)A	1・2・3・4前・後	2			○			3	1						
		派遣交換留学(実地研修)B	1・2・3・4前・後	4			○			3	1						
	日本語教育研究	日本語教育事情	2前	2			○									兼1	
		日本語教育文法	2前	2			○				1						
		語用論	2前	2			○			1							
		会話分析	2後	2			○										
		日本語教育とバイリンガリズム	2後	2			○									兼1	
		日本語意味論	2後	2			○									兼1	
		日本語教育概論	3・4前	2			○					1					
		日本語教授法	3・4後	2			○					1					
		コースデザイン論	3・4後	2			○										兼1
		日本語教育研究	3・4後	2			○					1					
	関連科目	情報処理Ⅰ	1前	2			○										兼2
		情報処理Ⅱ	1後	2			○										兼2
		東南アジア言語Ⅰ	1前	1				○									兼1
		東南アジア言語Ⅱ	1後	1				○									兼1
		アラビア語Ⅰ	1前	1				○									兼1
		アラビア語Ⅱ	1後	1				○									兼1
		ポルトガル語Ⅰ	1前	1				○									兼1
		ポルトガル語Ⅱ	1後	1				○									兼1
		ポップカルチャー論A	1・2・3・4前	2			○										兼1
		ポップカルチャー論B	1・2・3・4後	2			○										兼1
		ビジネス日本語	1・2・3・4前・後	1			○										兼1
		留学生対象日中翻訳	1・2・3・4後	1				○									兼1
		留学生対象中日翻訳	1・2・3・4前	1				○									兼1
		プレ・ゼミナールⅠ	2前	2				○			1	1					
		プレ・ゼミナールⅡ	2後	2				○			1	1					
		東アジアの交流史A	2・3・4前	2			○										兼1
		東アジアの交流史B	2・3・4後	2			○										兼1
		日本のジェンダー史	2・3・4前	2			○										兼1
		ジェンダーの民俗	2・3・4前	2			○										兼1
		伝統文化論A	1・2・3・4前	2			○										兼1
		伝統文化論B	1・2・3・4後	2			○										兼1
		日本の食文化	1・2・3・4前	2			○										兼1
		儀礼の民俗	2・3・4前	2			○										兼1
		芸能の民俗	2・3・4前	2			○										兼1
小計(36科目)		—	0	65	0	—				5	3	0	0	0	兼19	—	
合計(588科目)			—	26	887	6	—		18	14	0	4	0	兼331	—		

学位又は称号	学士(文学)	学位又は学科の分野	文学関係
--------	--------	-----------	------

卒業要件及び履修方法	授業期間等
------------	-------

〔履修要件〕 1 同一授業科目を重複して履修することはできない。 2 1年間の履修単位数は各年次48単位(半期24単位)を上限とする(通年科目を履修した場合は、その科目の単位数を二分割し、前学期・後学期それぞれの学期の単位数として換算する)。ただし、キャリア形成科目はこの上限に算入しない。 3 「日本語」(留学生)は外国人留学生(外国高等学校在学経験者(帰国生徒等)含む)を対象とした授業科目であり、履修には資格認定を必要とする。 4 学科科目のうち演習・ゼミナール科目の「専門演習Ⅰ・Ⅱ」については、原則として他学部・他学科の学生は履修することができない。 5 他学部・他学科の学生で日本語教員養成課程未登録者は、原則として日本語教育研究科目群を履修することができない。	1学年の学期区分	2学期
	1学期の授業期間	14週
	1時限の授業時間	100分

〔科目群登録〕  
1 1年次終了時に「文化交流科目」「観光文化科目」「国際日本学科目」「言語・メディア科目」のうち、いずれかの科目群を選択し、2年次当初に登録しなければならない。  
2 1の科目群の変更を希望する者は、3年次、4年次当初に「変更届」により申請し、許可を得なければならない。

〔進級要件〕  
1 2年次終了までに、以下の単位を修得しなければならない。  
(1)「FYS (First Year Seminar)」2単位。  
(2)「学科入門科目」4単位。  
(3)共通教養科目「外国語科目」と専攻科目「英語」のうち10単位。

〔学外単位認定制度〕  
学則第13条及び第13条の2に基づく次の単位は、本学における授業科目の履修とみなし、卒業要件単位に算入することができる。なお、横浜市内大学間の単位互換科目を履修する場合は、各セメスターの履修制限単位数に含める。  
1 本学が主催する「派遣交換留学」所定のプログラムで得た成果に応じて本学科で認定された単位。  
2 本学が主催又は推薦する「海外語学研修制度」所定のプログラムを修了して認定された単位。  
3 文部科学大臣認定の技能審査及びこれに準じる知識及び技能に係る審査に合格した者で、本学における所定の手続きにより認定された単位。  
4 横浜市内大学間の単位互換により修得した他大学の提供科目等で、本学の授業科目として認定された単位。

〔卒業要件〕  
1 4年以上在学し、学則所定の次表の「卒業要件単位数」を修得しなければならない。  
(1)2年次当初に、「文化交流科目」「観光文化科目」「言語・メディア科目」のいずれかの科目群を登録(以下、「登録科目群」という。)した場合。

授業科目	共通教養科目										専攻科目						合計			
	共通基礎科目					共通テーマ科目					基幹科目			展開科目				専攻科目合計		
	FYS	外国語科目	人文の分野	社会の分野	自然の分野	人間形成の分野	グローバル経済を学ぶ	社会と人間	科学技術と社会	生と死を考える	公共の新しいかたちをもとめて	学部教養科目	演習・ゼミナール	学科入門科目	英語(第一外国語)	(英語以外の外国語(第二外国語))			登録科目群	他の科目群
入学年度	2	8	4	4	4			2			32	10	8	8	14	8	14	14	96	128
2020年度入学	2	8	8									32	10	8	8	20			96	128

(2)2年次当初に、「国際日本学」の科目群を登録した場合。

授業科目	共通教養科目										専攻科目						合計				
	共通基礎科目					共通テーマ科目					基幹科目			展開科目				専攻科目合計			
	FYS	外国語科目	人文の分野	社会の分野	自然の分野	人間形成の分野	グローバル経済を学ぶ	社会と人間	科学技術と社会	生と死を考える	公共の新しいかたちをもとめて	学部教養科目	演習・ゼミナール	学科入門科目	英語(第一外国語)	(英語以外の外国語(第二外国語))			国際日本学科目群	他の科目群	関連科目
入学年度	2	8	4	4	4			2			32	10	8	8	14	4	18	14	96	128	
2020年度入学	2	8	8									32	10	8	8	14	4	18	14	96	128

[共通教養科目]

- 2 「FYS」2単位を修得すること。
- 3 外国語科目は英語を8単位以上修得すること。
- 4 共通基盤科目及び共通テーマ科目については、次の単位を含めて22単位以上修得すること。ただし、本学科では人間形成の分野の「キャリア形成Ⅰ～Ⅳ」ならびに「国内インターンシップ」は卒業要件単位として算入しないので注意すること。
  - (1) 人文の分野を4単位以上。
  - (2) 社会の分野を4単位以上。
  - (3) 自然の分野を4単位以上。
  - (4) 共通テーマ科目から2単位以上。
- 5 「スポーツ文化Ⅰ～Ⅲ」は、2単位まで卒業要件単位数に算入することができる。

[専攻科目]

- 6 学部教養科目から10単位以上修得すること。
- 7 演習・ゼミナールを必修科目を含めて8単位以上修得すること。
- 8 学科入門科目を8単位修得すること。
- 9 展開科目英語を14単位修得すること。
- 10 派遣交換留学において非英語プログラム（英語以外の言語で教授されるプログラム）で学修した場合、申請を経て「英語以外の外国語」を第一外国語、「英語」を第二外国語として、卒業要件単位数に算入することができる。
- 11 日本語が母語でない場合には、日本語を8単位以上修得すること（国際日本学科目群では4単位以上修得すること）。
- 12 文化交流科目群、観光文化科目群、言語・メディア科目群では、「英語以外の外国語」を同一言語で8単位以上修得すること。
- 13 国際日本学科目群では、「英語以外の外国語」を同一言語で4単位以上修得すること。
- 14 文化交流科目群、観光文化科目群、言語・メディア科目群は、登録科目群から14単位以上修得すること。
- 15 国際日本学科目群では、自科目群科目を18単位以上修得すること。
- 16 他の科目群を14単位以上修得すること。
- 17 関連科目から20単位以上修得すること。関連科目の単位として算入できるものは次のとおりとする。
  - (1) 外国語科目を除く共通教養科目の「卒業要件単位数」を超える単位。（上限6単位）
  - (2) 専攻科目の各科目群の「卒業要件単位数」を超える単位。
  - (3) 外国語科目の英語の「中級」「上級」の単位、外国語科目のうち学科の英語以外の外国語として選択している言語の「中級」「上級」の単位、外国語科目・その他の言語のうち地域言語として選択している言語以外の「初級」「中級」「上級」の単位及び「日本語特別演習AⅠ・AⅡ」の単位。（上限6単位）
  - (4) 教職課程登録者が修得した「教育の基礎的理解に関する科目等（各教科の指導法を含む）」の単位。（上限6単位）
  - (5) 学芸員課程登録者が修得した「学芸員に関する科目」の単位。（上限6単位）
  - (6) 他学部他学科開講の専攻科目の単位。ただし、他学部・他学科が受講を認めない科目については、履修することができない。





科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験 ・ 実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
共通 教養 科目	外国語科目	フランス語初級BⅡ	1後	1			○								兼3
		スペイン語初級AⅠ	1前	1			○								兼5
		スペイン語初級AⅡ	1後	1			○								兼5
		スペイン語初級BⅠ	1前	1			○								兼5
		スペイン語初級BⅡ	1後	1			○								兼5
		ロシア語初級AⅠ	1前	1			○								兼3
		ロシア語初級AⅡ	1後	1			○								兼3
		ロシア語初級BⅠ	1前	1			○								兼2
		ロシア語初級BⅡ	1後	1			○								兼2
		中国語初級AⅠ	1前	1			○								兼5
		中国語初級AⅡ	1後	1			○								兼5
		中国語初級BⅠ	1前	1			○								兼5
		中国語初級BⅡ	1後	1			○								兼6
		韓国語初級AⅠ	1前	1			○								兼4
		韓国語初級AⅡ	1後	1			○								兼4
		韓国語初級BⅠ	1前	1			○								兼5
		韓国語初級BⅡ	1後	1			○								兼5
		日本語AⅠ	1・2前	1			○								兼1
		日本語AⅡ	1・2後	1			○								兼1
		日本語BⅠ	1・2前	1			○								兼1
		日本語BⅡ	1・2後	1			○								兼1
		日本語CⅠ	1・2前	1			○								兼1
		日本語CⅡ	1・2後	1			○								兼1
		日本語DⅠ	1・2前	1			○								兼1
		日本語DⅡ	1・2後	1			○								兼1
		日本語EⅠ	1・2前	1			○								兼1
		日本語EⅡ	1・2後	1			○								兼1
		日本語FⅠ	1・2前	1			○								兼1
		日本語FⅡ	1・2後	1			○								兼1
		日本語特別演習(基礎)AⅠ	1・2前	1			○								兼1
		日本語特別演習(基礎)AⅡ	1・2後	1			○								兼1
		日本語特別演習(作文)AⅠ	1・2前	1			○								兼1
		日本語特別演習(作文)AⅡ	1・2後	1			○								兼1
		日本語特別演習(応用)AⅠ	1・2前	1			○								兼1
		日本語特別演習(応用)AⅡ	1・2後	1			○								兼1
		日本語特別演習(応用)BⅠ	1・2前	1			○								兼1
		日本語特別演習(応用)BⅡ	1・2後	1			○								兼1
		日本語特別演習(知識)AⅠ	1・2前	1			○								兼1
		日本語特別演習(知識)AⅡ	1・2後	1			○								兼1
		日本語特別演習(知識)BⅠ	1・2前	1			○								兼1
		日本語特別演習(知識)BⅡ	1・2後	1			○								兼1
		日本語特別演習(知識)CⅠ	1・2前	1			○								兼1
		日本語特別演習(知識)CⅡ	1・2後	1			○								兼1
		日本語特別演習(理解)AⅠ	1・2前	1			○								兼1
		日本語特別演習(理解)AⅡ	1・2後	1			○								兼1
		日本語特別演習(理解)BⅠ	1・2前	1			○								兼1
		日本語特別演習(理解)BⅡ	1・2後	1			○								兼1
		日本語特別演習(理解)CⅠ	1・2前	1			○								兼1
		日本語特別演習(理解)CⅡ	1・2後	1			○								兼1
		日本語特別演習(音声)Ⅰ	1・2前	1			○								兼1
日本語特別演習(音声)Ⅱ	1・2後	1			○								兼1		
日本語特別演習(表現)Ⅰ	1・2前	1			○								兼1		
日本語特別演習(表現)Ⅱ	1・2後	1			○								兼1		
ビジネス日本語A	2・3・4前・後	1			○								兼1		
ビジネス日本語B	2・3・4前・後	1			○								兼1		
日本語演習(日中翻訳)	3・4後	1				○							兼1		
日本語演習(中日翻訳)	3・4前	1				○							兼1		
ドイツ語中級AⅠ	2前	1				○							兼1		
ドイツ語中級AⅡ	2後	1				○							兼1		

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験 ・ 実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
共通 教養 科目	外国語科目	ドイツ語中級B I	2前	1				○							兼1
		ドイツ語中級B II	2後	1				○							兼1
		ドイツ語中級C I	2前	1				○							兼1
		ドイツ語中級C II	2後	1				○							兼1
		ドイツ語中級D I	2前	1				○							兼2
		ドイツ語中級D II	2後	1				○							兼2
		フランス語中級A I	2前	1				○							兼1
		フランス語中級A II	2後	1				○							兼1
		フランス語中級B I	2前	1				○							兼1
		フランス語中級B II	2後	1				○							兼1
		フランス語中級C I	2前	1				○							兼1
		フランス語中級C II	2後	1				○							兼1
		フランス語中級D I	2前	1				○							兼1
		フランス語中級D II	2後	1				○							兼1
		スペイン語中級A I	2前	1				○							兼2
		スペイン語中級A II	2後	1				○							兼2
		スペイン語中級B I	2前	1				○							兼2
		スペイン語中級B II	2後	1				○							兼2
		スペイン語中級C I	2前	1				○							兼2
		スペイン語中級C II	2後	1				○							兼2
		スペイン語中級D I	2前	1				○							兼2
		スペイン語中級D II	2後	1				○							兼2
		ロシア語中級A I	2前	1				○							兼1
		ロシア語中級A II	2後	1				○							兼1
		ロシア語中級B I	2前	1				○							兼1
		ロシア語中級B II	2後	1				○							兼1
		ロシア語中級C I	2前	1				○							兼1
		ロシア語中級C II	2後	1				○							兼1
		ロシア語中級D I	2前	1				○							兼1
		ロシア語中級D II	2後	1				○							兼1
		中国語中級A I	2前	1				○							兼1
		中国語中級A II	2後	1				○							兼1
		中国語中級B I	2前	1				○							兼2
		中国語中級B II	2後	1				○							兼2
		中国語中級C I	2前	1				○							兼2
		中国語中級C II	2後	1				○							兼2
		中国語中級D I	2前	1				○							兼2
		中国語中級D II	2後	1				○							兼2
		韓国語中級A I	2前	1				○							兼1
		韓国語中級A II	2後	1				○							兼1
		韓国語中級B I	2前	1				○							兼2
		韓国語中級B II	2後	1				○							兼2
		韓国語中級C I	2前	1				○							兼1
		韓国語中級C II	2後	1				○							兼1
		韓国語中級D I	2前	1				○							兼1
		韓国語中級D II	2後	1				○							兼1
ドイツ語上級A I	3・4前	1				○							兼1		
ドイツ語上級A II	3・4後	1				○							兼1		
ドイツ語上級B I	3・4前	1				○							兼1		
ドイツ語上級B II	3・4後	1				○							兼1		
ドイツ語上級C I	3・4前	1				○							兼1		
ドイツ語上級C II	3・4後	1				○							兼1		
フランス語上級A I	3・4前	1				○							兼1		
フランス語上級A II	3・4後	1				○							兼1		
フランス語上級B I	3・4前	1				○							兼1		
フランス語上級B II	3・4後	1				○							兼1		
フランス語上級C I	3・4前	1				○							兼1		
フランス語上級C II	3・4後	1				○							兼1		
スペイン語上級A I	3・4前	1				○							兼1		



科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
共通 教養 科目	社会の 分野	文化人類学Ⅰ	1・2・3・4前	2		○									兼2		
		文化人類学Ⅱ	1・2・3・4後	2		○									兼2		
		人文地理学Ⅰ	1・2・3・4前	2		○									兼3		
		人文地理学Ⅱ	1・2・3・4後	2		○									兼3		
		国際関係概論Ⅰ	1・2・3・4前	2		○									兼2		
		国際関係概論Ⅱ	1・2・3・4後	2		○									兼1		
		社会心理学Ⅰ	1・2・3・4前	2		○									兼2		
		社会心理学Ⅱ	1・2・3・4後	2		○									兼2		
		現代社会思想論Ⅰ	1・2・3・4前	2		○									兼1		
		現代社会思想論Ⅱ	1・2・3・4後	2		○									兼1		
		法学Ⅰ	1・2・3・4前	2		○									兼4		
		法学Ⅱ	1・2・3・4後	2		○									兼5		
		日本国憲法	1・2・3・4前	2		○									兼2		
		政治学Ⅰ	1・2・3・4前	2		○									兼6		
		政治学Ⅱ	1・2・3・4後	2		○									兼5		
		経済学Ⅰ	1・2・3・4前	2		○									兼3		
		経済学Ⅱ	1・2・3・4後	2		○									兼3		
		ジェンダー論Ⅰ	1・2・3・4前	2		○									兼3		
		ジェンダー論Ⅱ	1・2・3・4後	2		○									兼3		
		日本事情(法律)	1・2・3・4後	2		○									兼1		
		日本事情(政治)	1・2・3・4後	2		○									兼1		
		日本事情(経済)	1・2・3・4前	2		○									兼1		
		小計(27科目)	—	0	54	0	—				0	0	0	0	0	兼35	
		共通 教養 科目	自然の 分野	自然科学入門	1・2前	2		○									兼10
				数学Ⅰ	1・2・3・4前	2		○									兼2
				数学Ⅱ	1・2・3・4後	2		○									兼2
				統計学Ⅰ	1・2・3・4前	2		○									兼2
統計学Ⅱ	1・2・3・4後			2		○									兼2		
物理科学Ⅰ	1・2・3・4前			2		○									兼3		
物理科学Ⅱ	1・2・3・4後			2		○									兼3		
化学Ⅰ	1・2・3・4前			2		○									兼3		
化学Ⅱ	1・2・3・4後			2		○									兼3		
生物学Ⅰ	1・2・3・4前			2		○									兼3		
生物学Ⅱ	1・2・3・4後			2		○									兼3		
工学Ⅰ	1・2・3・4前			2		○									兼1		
工学Ⅱ	1・2・3・4後			2		○									兼1		
宇宙科学Ⅰ	1・2・3・4前			2		○									兼2		
宇宙科学Ⅱ	1・2・3・4後			2		○									兼1		
自然人類学Ⅰ	1・2・3・4前			2		○									兼1		
自然人類学Ⅱ	1・2・3・4後			2		○									兼1		
自然科学論Ⅰ	1・2・3・4前			2		○									兼2		
自然科学論Ⅱ	1・2・3・4後			2		○									兼3		
科学技術史Ⅰ	1・2・3・4前			2		○									兼1		
科学技術史Ⅱ	1・2・3・4後			2		○									兼1		
技術論Ⅰ	1・2・3・4前			2		○									兼1		
技術論Ⅱ	1・2・3・4後			2		○									兼1		
情報処理概論	1・2・3・4前			2		○										兼1	
情報機器活用	1・2・3・4前・後			2		○										兼5	
プログラミング基礎	1・2・3・4前・後			2		○										兼3	
情報とコミュニケーション	1・2・3・4後			2		○										兼2	
情報科学基礎	1・2・3・4後			2		○										兼1	
情報化社会と人間Ⅰ	1・2・3・4前			2		○										兼1	
情報化社会と人間Ⅱ	1・2・3・4後			2		○										兼1	
建築と都市Ⅰ	1・2・3・4前			2		○										兼1	
建築と都市Ⅱ	1・2・3・4後			2		○										兼1	
日本事情(自然)	1・2・3・4後			2		○										兼1	
小計(33科目)	—	0	66	0	—				0	0	0	0	0	兼40			

隔年開講



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
基幹科目	学部教養科目	横浜と観光	1・2・3・4後		2		○									兼7	オムニバス
		観光文化論	1・2・3・4前		2		○									兼1	
		世界地域論	1・2・3・4後		2		○									兼1	
		小計(21科目)	—	0	42	0	—			2	1	0	0	0	兼21	—	
	演習・ゼミナール	文章表現演習	1後	2				○		2	3						
		文献講読演習Ⅰ	2前	2				○		5							
		文献講読演習Ⅱ	2後	2				○		2	3						
		ゼミナールⅠ	3前		2			○		3	3						
		ゼミナールⅡ	3後		2			○		3	3						
		日本語学演習AⅠ	3前		2			○		1							
		日本語学演習AⅡ	3後		2			○		1							
		日本語学演習BⅠ	3前		2			○		1							
		日本語学演習BⅡ	3後		2			○		1							
		日本文学演習AⅠ	3前		2			○		1							
		日本文学演習AⅡ	3後		2			○		1							
		日本文学演習BⅠ	3前		2			○		1							
		日本文学演習BⅡ	3後		2			○		1							
		卒業研究Ⅰ	4前		2			○		7	3						
		卒業研究Ⅱ	4後		2			○		7	3						
		卒業論文	4通		4			○		7	3						
小計(16科目)	—	6	28	0	—			7	3	0	0	0	兼0	—			
専攻科目	日本語学科目	日本語学概論	1前	2			○		1								
		日本語表現法	2前		2			○	1								
		日本語文法論A	2前		2			○	1								
		日本語文法論B	2後		2			○	1								
		日本語史	2前		2			○							兼1		
		日本語音声学	2前		2			○	1								
		日本語語彙論	2後		2			○	1								
		日本語学特講	2後		2			○							兼1		
	小計(8科目)	—	2	14	0	—			3	0	0	0	0	兼1	—		
	展開科目	日本文学科目	日本文学概論A	1前		2			○		1						
日本文学概論B			1後	2				○	1								
日本文学史A			2前		2				○	1							
日本文学史B			2後		2				○	1							
漢文学A			2・3・4前		2				○							兼1	
漢文学B			2・3・4後		2				○							兼1	
日本古典文学特講			2前		2				○							兼1	
日本近代文学特講			2後		2				○							兼1	
小計(8科目)	—	2	14	0	—			2	0	0	0	0	兼3	—			
文化・表象科目	文化・表象科目	日本の美術	1・2・3・4前		2			○								兼1	
		現代文化論A	1・2・3・4前		2			○			1						
		現代文化論B	1・2・3・4後		2				○		1						
		ポップカルチャー論A	1・2・3・4前		2				○		1						
		ポップカルチャー論B	1・2・3・4後		2				○		1						
		伝統文化論A	1・2・3・4前		2				○		1						
		伝統文化論B	1・2・3・4後		2				○		1						
		伝説・昔話の民俗	1・2・3・4後		2				○							兼1	
		書道Ⅰ	2前		2				○							兼1	
		書道Ⅱ	2後		2				○							兼1	
		芸能の民俗	2・3・4前		2				○							兼1	
		舞台芸術論	1・2・3・4前		2				○		1						
		日本伝統文化演習A(茶道・華道・服飾)	1・2・3・4前		2				○			1					
		日本伝統文化演習B(音楽・絵画・工芸)	1・2・3・4後		2				○			1					
		日本芸能論	1・2・3・4後		2				○		1						
		日本の食文化	1・2・3・4前		2				○							兼1	
		日本の宗教	1・2・3・4前		2				○		1						
		文化受容論	1・2・3・4後		2				○		1						
小計(18科目)	—	0	36	0	—			3	2	0	0	0	兼5	—			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専攻科目	展開科目 日本文化発展科目	日本史概論	1・2・3・4前	2		○									兼4	オムニバス
		言語メディア論	1・2・3・4前	2		○									兼1	
		ことばと放送メディア(コンテンツ)	1・2・3・4前	2		○									兼1	
		ことばとジャーナリズムA	1・2・3・4前	2		○									兼1	
		ことばとジャーナリズムB	1・2・3・4後	2		○									兼1	
		ことばと出版メディア(編集・実務)	1・2・3・4前	2		○									兼1	
		ことばとマスメディアA	1・2・3・4前	2		○									兼1	
		ことばとマスメディアB	1・2・3・4後	2		○									兼1	
		信仰の民俗	1・2・3・4後	2		○									兼1	
		ことばと放送メディア(実務)	1・2・3・4後	2		○									兼1	
		ことばと広告メディア	1・2・3・4後	2		○									兼1	
		儀礼の民俗	2・3・4前	2		○									兼1	
		東アジアの交流史A	2・3・4前	2		○									兼1	
		東アジアの交流史B	2・3・4後	2		○									兼1	
		観光メディア論	1・2・3・4後	2		○									兼1	
		観光文化史	1・2・3・4前	2		○									兼1	
		観光地理学	1・2・3・4前	2		○									兼1	
		Intensive English Practicum	2・3・4後	4				○							兼1	
		地域文化論(中国)	1・2・3・4前	2		○									兼1	
		地域文化論(韓国)	1・2・3・4前	2		○									兼1	
		地域文化論(東南アジア)	1・2・3・4前	2		○									兼1	
		文化交流論(宗教)	1・2・3・4後	2		○									兼1	
		文化交流論(表象)	1・2・3・4前	2		○									兼1	
		文化交流論(芸術)	1・2・3・4前	2		○									兼1	
		文化交流論(文学)	1・2・3・4前	2		○									兼1	
小計(25科目)	—	0	52	0	—				0	0	0	0	0	兼20	—	
専攻科目	関連科目	日本語教育事情	2前	2		○									兼1	
		日本語教育文法	2前	2		○									兼1	
		語用論	2前	2		○									兼1	
		会話分析	2後	2		○									兼1	
		日本語教育とバイリンガリズム	2後	2		○									兼1	
		日本語意味論	2後	2		○									兼1	
		日本語教育概論	3・4前	2		○									兼1	
		日本語教授法	3・4後	2		○									兼1	
		コースデザイン論	3・4後	2		○									兼1	
		日本語教育研究	3・4後	2		○									兼1	
		派遣交換留学A	1・2・3・4前・後	1				○							兼4	
		派遣交換留学B	1・2・3・4前・後	2				○							兼4	
		派遣交換留学C	1・2・3・4前・後	4				○							兼4	
派遣交換留学D	1・2・3・4前・後	8				○							兼4			
海外文化研修 I	1・2・3・4前・後	2				○							兼4			
海外文化研修 II	1・2・3・4前・後	2				○							兼4			
海外文化研修 III	1・2・3・4前・後	2				○							兼4			
海外文化研修 IV	1・2・3・4前・後	2				○							兼4			
情報処理 I	1前	2			○								兼2			
情報処理 II	1後	2			○								兼2			
小計(20科目)	—	0	47	0	—				0	0	0	0	0	兼10	—	
合計(432科目)			—	16	653	6	—		7	3	0	0	0	兼334	—	

学位又は称号	学士(文学)	学位又は学科の分野	文学関係
--------	--------	-----------	------

卒業要件及び履修方法	授業期間等
------------	-------

[履修要件]  
 1 同一授業科目を重複して履修することはできない。  
 2 1年間の履修単位数は各年次48単位(半期24単位)を上限とする(通年科目を履修した場合は、その科目の単位数を二分割し、前学期・後学期それぞれの学期の単位数として換算する)。ただし、キャリア形成科目はこの上限に算入しない。  
 3 学科科目のうち演習・ゼミナール科目の「文章表現演習」「文献講読演習Ⅰ・Ⅱ」については、原則として他学部・他学科の学生は履修することができない。  
 4 他学部・他学科の学生で日本語教員養成課程未登録者は、原則として日本語教育研究科目を履修することができない。  
 5 国語の教職課程登録者については、原則として演習・ゼミナールに配置されている「日本語学演習」及び「日本文学演習」を履修すること。  
 また、展開科目全体から12単位以上修得するにあたっては、原則として日本語学科目及び日本文学科目に配置されている科目から履修すること。

1学年の学期区分	2学期
1学期の授業期間	14週
1時限の授業時間	100分

[学外単位認定制度]  
 学則第13条及び第13条の2に基づく次の単位は、本学における授業科目の履修とみなし、卒業要件単位に算入手続きによりすることができる。なお、横浜市内大学間の単位互換科目を履修する場合は、各セメスターの履修制限単位数に含める。  
 1 本学が主催又は推薦する「海外語学研修制度」所定のプログラムを修了して認定された単位。  
 2 文部科学大臣認定の技能審査及びこれに準じる知識及び技能に係る審査に合格した者で、本学における所定の認定された単位。  
 3 横浜市内大学間の単位互換により修得した他大学の提供科目等で、本学の授業科目として認定された単位。

[卒業要件]  
 1 4年以上在学し、学則所定の次表の「卒業要件単位数」を修得しなければならない。

授業科目	共通教養科目										専攻科目						合計				
	共通基盤科目					共通テーマ科目					基幹科目			展開科目							
	FYS	第一外国語科目	第二外国語科目	人文の分野	社会の分野	自然の分野	人間形成の分野	グローバル経済を学ぶ	社会と人間	科学技術と社会	生と死を考える	公共の新しいかたちをもとめて	学部教養科目	演習・ゼミナール	日本語学科目	日本文学科目		文化・表象科目	日本文化発展科目	関連科目	
入学年度																					
2020年度入学	2	8	4	4	4	4				2	36	10	10	6	6	8	8		20	92	128
										8											

2 共通教養科目から次の内訳で合計36単位以上を修得すること。  
 (1) FYS 2単位。  
 (2) 第一外国語を8単位以上修得すること。ただし、外国人留学生は母語以外の言語を選択すること。  
 (3) 第二外国語として、第一外国語以外の外国語(同一言語に限る)科目より4単位以上修得すること。ただし、外国人留学生は母語以外の言語を選択すること。  
 (4) 人文・社会・自然の各分野からそれぞれ4単位以上修得すること。  
 (5) 共通テーマ科目から2単位以上修得すること。  
 (6) 上記の(4)、(5)の計14単位の他に、人文・社会・自然・人間形成の各分野及び共通テーマ科目から8単位以上修得すること。  
 (7) 「スポーツ文化Ⅰ～Ⅲ」は、2単位まで「卒業要件単位数」に算入することができる。  
 (8) 「キャリア形成Ⅰ～Ⅳ」、「国内インターンシップ」は「卒業要件単位数」に算入できない。  
 3 学部教養科目を10単位以上修得すること。  
 4 演習・ゼミナールを必修科目を含めて10単位以上修得すること。  
 5 日本語学科目及び日本文学科目からそれぞれ6単位以上修得すること。  
 6 文化・表象科目及び日本文化発展科目からそれぞれ8単位以上修得すること。  
 7 上記の5、6の計28単位の他に、展開科目から12単位以上修得すること。  
 8 上記の3～7の計60単位の他に、基幹科目及び展開科目から12単位以上修得すること。  
 9 関連科目から20単位以上修得すること。  
 関連科目の単位として算入できるものは次のとおりとする。  
 (1) 外国語科目を除く共通教養科目の「卒業要件単位数」を超える単位。(上限6単位)  
 (2) 専攻科目の各科目群の「卒業要件単位数」を超える単位。  
 (3) 第一外国語科目、第二外国語科目の「卒業要件単位数」を超える単位。(上限6単位)  
 (4) 教職課程登録者が修得した「教育の基礎的理解に関する科目等(各教科の指導法を含む)」の単位。(上限6単位)  
 (5) 学芸員課程登録者が修得した「学芸員に関する科目」の単位。(上限6単位)  
 (6) 他学部他学科開講の専攻科目の単位。ただし、他学部・他学科が受講を認めない科目については、履修することができない。





科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験 ・ 実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
共通 教養 科目	外国語科目	フランス語初級BⅡ	1後	1			○								兼3
		スペイン語初級AⅠ	1前	1			○								兼5
		スペイン語初級AⅡ	1後	1			○								兼5
		スペイン語初級BⅠ	1前	1			○								兼5
		スペイン語初級BⅡ	1後	1			○								兼5
		ロシア語初級AⅠ	1前	1			○								兼3
		ロシア語初級AⅡ	1後	1			○								兼3
		ロシア語初級BⅠ	1前	1			○								兼2
		ロシア語初級BⅡ	1後	1			○								兼2
		中国語初級AⅠ	1前	1			○								兼5
		中国語初級AⅡ	1後	1			○								兼5
		中国語初級BⅠ	1前	1			○								兼5
		中国語初級BⅡ	1後	1			○								兼6
		韓国語初級AⅠ	1前	1			○								兼4
		韓国語初級AⅡ	1後	1			○								兼4
		韓国語初級BⅠ	1前	1			○								兼5
		韓国語初級BⅡ	1後	1			○								兼5
		日本語AⅠ	1・2前	1			○								兼1
		日本語AⅡ	1・2後	1			○								兼1
		日本語BⅠ	1・2前	1			○								兼1
		日本語BⅡ	1・2後	1			○								兼1
		日本語CⅠ	1・2前	1			○								兼1
		日本語CⅡ	1・2後	1			○								兼1
		日本語DⅠ	1・2前	1			○								兼1
		日本語DⅡ	1・2後	1			○								兼1
		日本語EⅠ	1・2前	1			○								兼1
		日本語EⅡ	1・2後	1			○								兼1
		日本語FⅠ	1・2前	1			○								兼1
		日本語FⅡ	1・2後	1			○								兼1
		日本語特別演習(基礎)AⅠ	1・2前	1			○								兼1
		日本語特別演習(基礎)AⅡ	1・2後	1			○								兼1
		日本語特別演習(作文)AⅠ	1・2前	1			○								兼1
		日本語特別演習(作文)AⅡ	1・2後	1			○								兼1
		日本語特別演習(応用)AⅠ	1・2前	1			○								兼1
		日本語特別演習(応用)AⅡ	1・2後	1			○								兼1
		日本語特別演習(応用)BⅠ	1・2前	1			○								兼1
		日本語特別演習(応用)BⅡ	1・2後	1			○								兼1
		日本語特別演習(知識)AⅠ	1・2前	1			○								兼1
		日本語特別演習(知識)AⅡ	1・2後	1			○								兼1
		日本語特別演習(知識)BⅠ	1・2前	1			○								兼1
		日本語特別演習(知識)BⅡ	1・2後	1			○								兼1
		日本語特別演習(知識)CⅠ	1・2前	1			○								兼1
		日本語特別演習(知識)CⅡ	1・2後	1			○								兼1
		日本語特別演習(理解)AⅠ	1・2前	1			○								兼1
		日本語特別演習(理解)AⅡ	1・2後	1			○								兼1
		日本語特別演習(理解)BⅠ	1・2前	1			○								兼1
		日本語特別演習(理解)BⅡ	1・2後	1			○								兼1
		日本語特別演習(理解)CⅠ	1・2前	1			○								兼1
		日本語特別演習(理解)CⅡ	1・2後	1			○								兼1
		日本語特別演習(音声)Ⅰ	1・2前	1			○								兼1
日本語特別演習(音声)Ⅱ	1・2後	1			○								兼1		
日本語特別演習(表現)Ⅰ	1・2前	1			○								兼1		
日本語特別演習(表現)Ⅱ	1・2後	1			○								兼1		
ビジネス日本語A	2・3・4前・後	1			○								兼1		
ビジネス日本語B	2・3・4前・後	1			○								兼1		
日本語演習(日中翻訳)	3・4後	1				○							兼1		
日本語演習(中日翻訳)	3・4前	1				○							兼1		
ドイツ語中級AⅠ	2前	1				○							兼1		
ドイツ語中級AⅡ	2後	1				○							兼1		

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験 ・ 実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
共通 教養 科目	外国語科目	ドイツ語中級B I	2前	1				○							兼1
		ドイツ語中級B II	2後	1				○							兼1
		ドイツ語中級C I	2前	1				○							兼1
		ドイツ語中級C II	2後	1				○							兼1
		ドイツ語中級D I	2前	1				○							兼2
		ドイツ語中級D II	2後	1				○							兼2
		フランス語中級A I	2前	1				○							兼1
		フランス語中級A II	2後	1				○							兼1
		フランス語中級B I	2前	1				○							兼1
		フランス語中級B II	2後	1				○							兼1
		フランス語中級C I	2前	1				○							兼1
		フランス語中級C II	2後	1				○							兼1
		フランス語中級D I	2前	1				○							兼1
		フランス語中級D II	2後	1				○							兼1
		スペイン語中級A I	2前	1				○							兼2
		スペイン語中級A II	2後	1				○							兼2
		スペイン語中級B I	2前	1				○							兼2
		スペイン語中級B II	2後	1				○							兼2
		スペイン語中級C I	2前	1				○							兼2
		スペイン語中級C II	2後	1				○							兼2
		スペイン語中級D I	2前	1				○							兼2
		スペイン語中級D II	2後	1				○							兼2
		ロシア語中級A I	2前	1				○							兼1
		ロシア語中級A II	2後	1				○							兼1
		ロシア語中級B I	2前	1				○							兼1
		ロシア語中級B II	2後	1				○							兼1
		ロシア語中級C I	2前	1				○							兼1
		ロシア語中級C II	2後	1				○							兼1
		ロシア語中級D I	2前	1				○							兼1
		ロシア語中級D II	2後	1				○							兼1
		中国語中級A I	2前	1				○							兼1
		中国語中級A II	2後	1				○							兼1
		中国語中級B I	2前	1				○							兼2
		中国語中級B II	2後	1				○							兼2
		中国語中級C I	2前	1				○							兼2
		中国語中級C II	2後	1				○							兼2
		中国語中級D I	2前	1				○							兼2
		中国語中級D II	2後	1				○							兼2
		韓国語中級A I	2前	1				○							兼1
		韓国語中級A II	2後	1				○							兼1
		韓国語中級B I	2前	1				○							兼2
		韓国語中級B II	2後	1				○							兼2
		韓国語中級C I	2前	1				○							兼1
		韓国語中級C II	2後	1				○							兼1
		韓国語中級D I	2前	1				○							兼1
		韓国語中級D II	2後	1				○							兼1
		ドイツ語上級A I	3・4前	1				○							兼1
ドイツ語上級A II	3・4後	1				○							兼1		
ドイツ語上級B I	3・4前	1				○							兼1		
ドイツ語上級B II	3・4後	1				○							兼1		
ドイツ語上級C I	3・4前	1				○							兼1		
ドイツ語上級C II	3・4後	1				○							兼1		
フランス語上級A I	3・4前	1				○							兼1		
フランス語上級A II	3・4後	1				○							兼1		
フランス語上級B I	3・4前	1				○							兼1		
フランス語上級B II	3・4後	1				○							兼1		
フランス語上級C I	3・4前	1				○							兼1		
フランス語上級C II	3・4後	1				○							兼1		
スペイン語上級A I	3・4前	1				○							兼1		



科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
共通 教養 科目	社会の 分野	文化人類学Ⅰ	1・2・3・4前	2		○									兼2		
		文化人類学Ⅱ	1・2・3・4後	2		○									兼2		
		人文地理学Ⅰ	1・2・3・4前	2		○									兼3		
		人文地理学Ⅱ	1・2・3・4後	2		○									兼3		
		国際関係概論Ⅰ	1・2・3・4前	2		○									兼2		
		国際関係概論Ⅱ	1・2・3・4後	2		○									兼1		
		社会心理学Ⅰ	1・2・3・4前	2		○									兼2		
		社会心理学Ⅱ	1・2・3・4後	2		○									兼2		
		現代社会思想論Ⅰ	1・2・3・4前	2		○									兼1		
		現代社会思想論Ⅱ	1・2・3・4後	2		○									兼1		
		法学Ⅰ	1・2・3・4前	2		○									兼4		
		法学Ⅱ	1・2・3・4後	2		○									兼5		
		日本国憲法	1・2・3・4前	2		○									兼2		
		政治学Ⅰ	1・2・3・4前	2		○									兼6		
		政治学Ⅱ	1・2・3・4後	2		○									兼5		
		経済学Ⅰ	1・2・3・4前	2		○									兼3		
		経済学Ⅱ	1・2・3・4後	2		○									兼3		
		ジェンダー論Ⅰ	1・2・3・4前	2		○									兼3		
		ジェンダー論Ⅱ	1・2・3・4後	2		○									兼3		
		日本事情(法律)	1・2・3・4後	2		○									兼1		
		日本事情(政治)	1・2・3・4後	2		○									兼1		
		日本事情(経済)	1・2・3・4前	2		○									兼1		
		小計(27科目)	—	0	54	0	—				0	0	0	0	0	兼35	
		共通 教養 科目	自然の 分野	自然科学入門	1・2前	2		○									兼10
				数学Ⅰ	1・2・3・4前	2		○									兼2
				数学Ⅱ	1・2・3・4後	2		○									兼2
				統計学Ⅰ	1・2・3・4前	2		○									兼2
統計学Ⅱ	1・2・3・4後			2		○									兼2		
物理科学Ⅰ	1・2・3・4前			2		○									兼3		
物理科学Ⅱ	1・2・3・4後			2		○									兼3		
化学Ⅰ	1・2・3・4前			2		○									兼3		
化学Ⅱ	1・2・3・4後			2		○									兼3		
生物学Ⅰ	1・2・3・4前			2		○									兼3		
生物学Ⅱ	1・2・3・4後			2		○									兼3		
工学Ⅰ	1・2・3・4前			2		○									兼1		
工学Ⅱ	1・2・3・4後			2		○									兼1		
宇宙科学Ⅰ	1・2・3・4前			2		○									兼2		
宇宙科学Ⅱ	1・2・3・4後			2		○									兼1		
自然人類学Ⅰ	1・2・3・4前			2		○									兼1		
自然人類学Ⅱ	1・2・3・4後			2		○									兼1		
自然科学論Ⅰ	1・2・3・4前			2		○									兼2		
自然科学論Ⅱ	1・2・3・4後			2		○									兼3		
科学技術史Ⅰ	1・2・3・4前			2		○									兼1		
科学技術史Ⅱ	1・2・3・4後			2		○									兼1		
技術論Ⅰ	1・2・3・4前			2		○									兼1		
技術論Ⅱ	1・2・3・4後			2		○									兼1		
情報処理概論	1・2・3・4前			2		○										兼1	
情報機器活用	1・2・3・4前・後			2		○										兼5	
プログラミング基礎	1・2・3・4前・後			2		○										兼3	
情報とコミュニケーション	1・2・3・4後			2		○										兼2	
情報科学基礎	1・2・3・4後	2		○										兼1			
情報化社会と人間Ⅰ	1・2・3・4前	2		○										兼1			
情報化社会と人間Ⅱ	1・2・3・4後	2		○										兼1			
建築と都市Ⅰ	1・2・3・4前	2		○										兼1			
建築と都市Ⅱ	1・2・3・4後	2		○										兼1			
日本事情(自然)	1・2・3・4後	2		○										兼1			
小計(33科目)	—	0	66	0	—				0	0	0	0	0	兼40			

隔年開講



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考				
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手					
専攻科目	学部教養科目	横浜と観光	1・2・3・4後		2		○									兼7	オムニバス	
		観光文化論	1・2・3・4前		2		○									兼1		
		世界地域論	1・2・3・4後		2		○									兼1		
		小計(21科目)	—	0	42	0	—	—	—	0	0	0	0	0	0	兼24	—	
	演習・ゼミナール	基礎演習	1後	2				○		2	1							
		専門演習Ⅰ	2前	2				○		1	2							
		専門演習Ⅱ	2後	2				○		2	1							
		プレゼミナールⅠ	2前		2			○		1	1							
		プレゼミナールⅡ	2後		2			○		1	1							
		ゼミナールⅠ	3前	2				○		6	5							
		ゼミナールⅡ	3後	2				○		6	5							
		SゼミナールⅠ	3前		2			○		6	5							
		SゼミナールⅡ	3後		2			○		6	5							
		卒業研究Ⅰ	4前	2				○		6	5							
		卒業研究Ⅱ	4後	2				○		6	5							
		卒業論文	4通	4				○		6	5							
	小計(12科目)	—	18	8	0	—	—	—	6	5	0	0	0	0	兼0	—		
	実習科目	歴史民俗資料入門Ⅰ	1前	2					○	1	1					兼2	オムニバス・共同(一部)	
		歴史民俗資料入門Ⅱ	1後	2					○	2	1					兼2	オムニバス・共同(一部)	
		歴史史料実習(古代)	2・3・4前		2				○	1								
		歴史史料実習(近現代)A	2・3・4前		2				○		1							
		歴史史料実習(近現代)B	2・3・4後		2				○		1							
		歴史史料実習(中世)	2・3・4後		2				○	1								
		歴史史料実習(近世)	2・3・4後		2				○		1							
		民俗調査実習Ⅰ	2前		2				○	2	2						共同	
		民俗調査実習Ⅱ	2後		2				○	2	2						共同	
	小計(9科目)	—	4	14	0	—	—	—	6	5	0	0	0	0	兼2	—		
	展開科目	歴史分野	日本史概論	1前	2			○		2	2							オムニバス
			人文地理学概論	1前		2		○		1								
			日本の美術	1前		2		○		1								
			日本の宗教	1・2・3・4前		2		○									兼1	
			日本の古代	1後		2		○		1								
			日本の中世	1後		2		○		1								
日本の近世			1後		2		○				1							
日本の近代			1後		2		○				1							
日本の現代			1後		2		○									兼1		
日本文化論(言語)			1・2・3・4後		2		○									兼1		
文化受容論		1・2・3・4後		2		○									兼1			
東アジアの交流史A		2・3・4前		2		○									兼1			
東アジアの交流史B		2・3・4後		2		○				1					兼1			
日本の社会史A		2・3・4前		2		○			1									
日本の社会史B		2・3・4前		2		○				1								
日本のジェンダー史		2・3・4前		2		○			1									
歴史考古		2・3・4前		2		○									兼1			
歴史地理		2・3・4後		2		○			1									
日本文学史A		2前		2		○									兼1			
日本文学史B		2後		2		○									兼1			
小計(20科目)	—	2	38	0	—	—	—	4	3	0	0	0	0	兼7	—			
民俗分野	民俗学概論	1前	2			○			4	2						オムニバス・共同(一部)		
	社会学概論	1前		2		○									兼1			
	宗教学概論	1前		2		○									兼1			
	文化人類学概論	1前		2		○									兼1			
	地域文化論(中国)	1・2・3・4前		2		○									兼1			
	舞台芸術論	1・2・3・4前		2		○									兼1			
	現代文化論A	1・2・3・4前		2		○									兼1			
	現代文化論B	1・2・3・4後		2		○									兼1			
	信仰の民俗	1後		2		○			1									
	伝説・昔話の民俗	1後		2		○				1								
	東アジアの民俗	1後		2		○			1									

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
専攻科目	民俗分野	社会の民俗		2		○			1								
		生業の民俗	1後	2		○			1								
		観光の民俗	1後	2		○			1								
		文化交流論(生活)	1・2・3・4後	2		○										兼1	
		日本芸能論	1・2・3・4後	2		○										兼1	
		自然の民俗	2・3・4前	2		○			1								
		ジェンダーの民俗	2・3・4前	2		○			1								
		沖縄の民俗	2・3・4前	2		○			1								
		儀礼の民俗	2・3・4前	2		○										兼1	
		芸能の民俗	2・3・4前	2		○										兼1	
		メディアの民俗	2・3・4前	2		○					1						
		民具論	2・3・4後	2		○					1						
	小計(23科目)	—	2	44	0	—	—	—	4	2	0	0	0	0	兼9	—	
	展開科目	文化創生分野	文化創生概論	1前	2		○				1						
			政治学概論	1前	2		○										兼1
			生涯学習論Ⅰ	1前	2		○										兼1
			生涯学習論Ⅱ	1後	2		○										兼1
			観光文化史	1・2・3・4前	2		○										兼1
			観光と現代社会	1・2・3・4前	2		○										兼1
			ことばと放送メディア(コンテンツ)	1・2・3・4前	2		○										兼1
			ことばと出版メディア(編集・実務)	1・2・3・4前	2		○										兼1
			文化資源論	1後	2		○			1							
			文化遺産論	1後	2		○			1							
コミュニティと地域観光文化			1・2・3・4後	2		○										兼1	
ことばと放送メディア(実務)			1・2・3・4後	2		○										兼1	
ことばと広告メディア			1・2・3・4後	2		○										兼1	
文化創生実践論			2・3・4前	2		○				1						兼3	
文化政策論			2・3・4前	2		○										兼1	
アーカイブズ論			2・3・4前	2		○										兼1	
博物館概論			2・3・4前	2		○					1						
博物館情報・メディア論			2・3・4前	2		○					1						
観光メディア論			1・2・3・4前	2		○										兼1	
ことばとジャーナリズムA	1・2・3・4前	2		○										兼1			
横浜の歴史と民俗B	2・3・4後	2		○				1						兼3			
博物館展示論	2・3・4後	2		○										兼1			
博物館資料論	2・3・4後	2		○					1								
ことばとマスメディアA	1・2・3・4前	2		○										兼1			
小計(24科目)	—	2	46	0	—	—	—	2	3	0	0	0	0	兼17	—		
関連科目		派遣交換留学A	1・2・3・4前・後	1				○								兼4	
		派遣交換留学B	1・2・3・4前・後	2				○								兼4	
		派遣交換留学C	1・2・3・4前・後	4					○							兼4	
		派遣交換留学D	1・2・3・4前・後	8					○							兼4	
		情報処理Ⅰ	1前	2		○										兼2	
		情報処理Ⅱ	1後	2		○										兼2	
		外国史概論A	1前	2		○										兼1	
		外国史概論B	1後	2		○										兼1	
		地誌学概論	1前	2		○				1							
		自然地理学概論	1後	2		○										兼1	
		Intensive English Practicum	2・3・4後	4					○							兼1	
小計(11科目)	—	0	31	0	—	—	—	1	0	0	0	0	0	兼10	—		
合計(436科目)		—	34	643	6	—	—	8	5	0	0	0	0	兼338	—		



学位又は称号	学士(文学)	学位又は学科の分野	文学関係
--------	--------	-----------	------

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
------------	--	-------	--

<p>[履修要件]</p> <p>1 同一授業科目を重複して履修することはできない。</p> <p>2 1年間の履修単位数は各年次48単位(半期24単位)を上限とする(通年科目を履修した場合は、その科目の単位数を二分割し、前学期・後学期それぞれの学期の単位数として換算する)。ただし、「海外インターンシップ」を除く、キャリア形成科目はこの上限に算入しない。</p> <p>3 学教科目のうち演習・実習科目、「SゼミナールⅠ・Ⅱ」については、原則として他学部・他学科の学生は履修することができない。</p> <p>ただし、「プレゼミナールⅠ・Ⅱ」、「ゼミナールⅠ・Ⅱ」及び「卒業研究Ⅰ・Ⅱ」、「卒業論文」については、履修することができる。</p> <p>4 社会又は地理歴史の教職課程登録者については、原則として実習科目に配置されている「歴史史料実習」を履修すること。</p> <p>また、展開科目のうち、歴史分野の16単位、民俗分野の16単位及び文化創生分野の12単位を修得するにあたっては、原則としてその半数を「教科に関する専門的事項」に配置されている科目から履修すること。</p> <p>[学外単位認定制度]</p> <p>学則第13条及び第13条の2に基づく次の単位は、本学における授業科目の履修とみなし、卒業要件単位に算入することができる。なお、横浜市内大学間の単位互換科目を履修する場合は、各セメスターの履修制限単位数に含める。</p> <p>1 本学が主催する「派遣交換留学」所定のプログラムで得た成果に応じて本学科で認定された単位。</p> <p>2 本学が主催又は推薦する「海外語学研修制度」所定のプログラムを修了して認定された単位。</p> <p>3 文部科学大臣認定の技能審査及びこれに準じる知識及び技能に係る審査に合格した者で、本学における所定の手続きにより認定された単位。</p> <p>4 横浜市内大学間の単位互換により修得した他大学の提供科目等で、本学の授業科目として認定された単位。</p> <p>[卒業要件]</p> <p>1 4年以上在学し、学則所定の次表の「卒業要件単位数」を修得しなければならない。</p>		1学年の学期区分	2学期
		1学期の授業期間	14週
		1時限の授業時間	100分

<p>[卒業要件]</p> <p>1 4年以上在学し、学則所定の次表の「卒業要件単位数」を修得しなければならない。</p>			
---	--	--	--

授業科目	共通教養科目											専攻科目						合計			
	共通基盤科目					共通テーマ科目						基幹科目		展開科目							
	FYS	外国語科目	人文の分野	社会の分野	自然の分野	人間形成の分野	グローバル経済を学ぶ	社会と人間	科学技術と社会	生と死を考える	公共の新しいカタチをもとめて	共通教養科目合計	学部教養科目	演習・ゼミナール	実習科目	歴史分野	民俗分野		文化創生分野	関連科目	専攻科目合計
入学年度																					
2020年度入学	2	8	4	4	4						8	32	8	18	8	16	16	12	18	96	128

2 共通教養科目から次の内訳で合計32単位以上を修得すること。

(1) 「FYS」2単位を修得すること。

(2) 外国語科目は英語8単位以上を修得すること。ただし、外国人留学生及び外国高等学校在学経験者(帰国生徒等)は申請により、英語に換えて、4~6単位を日本語とすることができる。なお、8単位に不足する単位は英語で補うものとする。

(3) 共通基盤科目及び共通テーマ科目については、次の単位を含めて22単位以上修得すること。

- ① 人文の分野を4単位以上。
- ② 社会の分野を4単位以上。
- ③ 自然の分野を4単位以上。
- ④ 共通テーマ科目から2単位以上。
- ⑤ 「スポーツ文化Ⅰ~Ⅲ」は、2単位まで卒業要件単位数に算入することができる。
- ⑥ 人間形成の分野の「キャリア形成Ⅰ~Ⅳ」、「国内インターンシップ」は卒業要件として算入しない。

3 専攻科目から次の内訳で96単位以上を修得すること。

(1) 基幹科目から34単位以上修得すること。

- ① 学部教養科目から8単位以上修得すること。
- ② 演習・ゼミナールから必修科目の単位を含め18単位以上修得すること。なお、国際日本学部の他学科の「ゼミナールⅠ・Ⅱ」、「卒業研究Ⅰ・Ⅱ」及び「卒業論文」の単位を、自学科の単位に置き換えることができる。ただし、「卒業論文」については、必ず「卒業研究Ⅰ・Ⅱ」と合わせて修得すること。
- ③ 実習科目から必修科目を含め8単位以上修得すること。

(2) 展開科目から各分野の必修科目を含め歴史分野・民俗分野から各16単位以上、文化創生分野から12単位以上修得すること。

(3) 関連科目から18単位以上修得すること。

なお、次の科目についても関連科目の単位として算入できる。

- ① 共通教養科目、基幹科目(学部教養科目、演習・ゼミナール・実習科目)展開科目(歴史分野・民俗分野・文化創生分野)の「卒業要件単位数」を超える単位。
- ② 教職課程登録者が修得した「教育の基礎的理解に関する科目等(各教科の指導法を含む)」の単位。(上限6単位)
- ③ 他学部・他学科開講の専攻科目の単位。ただし、他学部・他学科が受講を認めない科目については履修することができない。

専任教員の年齢構成・学位保有状況										
(国際日本学部国際文化交流学科)										
職 位	学 位	29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	合 計	備 考
教 授	博 士	0人	0人	2人	8人	5人	1人	0人	16人	
	修 士	0人	0人	0人	1人	1人	0人	0人	2人	
	学 士	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
	短 期 学 大 士	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
	そ の 他	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
准 教 授	博 士	0人	1人	5人	5人	0人	0人	0人	11人	
	修 士	0人	0人	0人	1人	0人	1人	0人	2人	
	学 士	0人	0人	0人	0人	0人	0人	1人	1人	
	短 期 学 大 士	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
	そ の 他	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
講 師	博 士	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
	修 士	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
	学 士	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
	短 期 学 大 士	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
	そ の 他	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
助 教	博 士	0人	2人	1人	0人	0人	0人	0人	3人	
	修 士	0人	1人	0人	0人	0人	0人	0人	1人	
	学 士	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
	短 期 学 大 士	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
	そ の 他	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
合 計	博 士	0人	3人	8人	13人	5人	1人	0人	30人	
	修 士	0人	1人	0人	2人	1人	1人	0人	5人	
	学 士	0人	0人	0人	0人	0人	0人	1人	1人	
	短 期 学 大 士	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
	そ の 他	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	

(注)

- 1 この書類は、申請又は届出に係る学部等ごとに作成すること。
- 2 この書類は、専任教員についてのみ、作成すること。
- 3 この書類は、申請又は届出に係る学部等の開設後、当該学部等の修業年限に相当する期間が満了する年度（以下「完成年度」という。）における状況を記載すること。
- 4 専門職大学院の課程を修了した者に対し授与された学位については、「その他」の欄にその数を記載し、「備考」の欄に、具体的な学位名称を付記すること。

専任教員の年齢構成・学位保有状況										
(国際日本学部日本文化学科)										
職 位	学 位	29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	合 計	備 考
教 授	博 士	0人	0人	1人	1人	2人	1人	1人	6人	
	修 士	0人	0人	0人	1人	0人	0人	0人	1人	
	学 士	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
	短 期 学 大 士	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
	そ の 他	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
准 教 授	博 士	0人	0人	2人	1人	0人	0人	0人	3人	
	修 士	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
	学 士	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
	短 期 学 大 士	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
	そ の 他	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
講 師	博 士	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
	修 士	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
	学 士	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
	短 期 学 大 士	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
	そ の 他	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
助 教	博 士	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
	修 士	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
	学 士	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
	短 期 学 大 士	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
	そ の 他	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
合 計	博 士	0人	0人	3人	2人	2人	1人	1人	9人	
	修 士	0人	0人	0人	1人	0人	0人	0人	1人	
	学 士	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
	短 期 学 大 士	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
	そ の 他	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	

(注)

- 1 この書類は、申請又は届出に係る学部等ごとに作成すること。
- 2 この書類は、専任教員についてのみ、作成すること。
- 3 この書類は、申請又は届出に係る学部等の開設後、当該学部等の修業年限に相当する期間が満了する年度（以下「完成年度」という。）における状況を記載すること。
- 4 専門職大学院の課程を修了した者に対し授与された学位については、「その他」の欄にその数を記載し、「備考」の欄に、具体的な学位名称を付記すること。

専任教員の年齢構成・学位保有状況										
(国際日本学部歴史民俗学科)										
職 位	学 位	29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	合 計	備 考
教 授	博 士	0人	0人	0人	1人	1人	2人	0人	4人	
	修 士	0人	0人	0人	0人	1人	2人	0人	3人	
	学 士	0人	0人	0人	0人	0人	0人	1人	1人	
	短 期 学 大 士	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
	そ の 他	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
准 教 授	博 士	0人	0人	2人	1人	2人	0人	0人	5人	
	修 士	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
	学 士	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
	短 期 学 大 士	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
	そ の 他	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
講 師	博 士	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
	修 士	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
	学 士	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
	短 期 学 大 士	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
	そ の 他	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
助 教	博 士	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
	修 士	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
	学 士	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
	短 期 学 大 士	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
	そ の 他	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
合 計	博 士	0人	0人	2人	2人	3人	2人	0人	9人	
	修 士	0人	0人	0人	0人	1人	2人	0人	3人	
	学 士	0人	0人	0人	0人	0人	0人	1人	1人	
	短 期 学 大 士	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
	そ の 他	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	

(注)

- 1 この書類は、申請又は届出に係る学部等ごとに作成すること。
- 2 この書類は、専任教員についてのみ、作成すること。
- 3 この書類は、申請又は届出に係る学部等の開設後、当該学部等の修業年限に相当する期間が満了する年度（以下「完成年度」という。）における状況を記載すること。
- 4 専門職大学院の課程を修了した者に対し授与された学位については、「その他」の欄にその数を記載し、「備考」の欄に、具体的な学位名称を付記すること。